

公益財団法人

2021年度

渥美国際交流財団年報

ATSUMI INTERNATIONAL FOUNDATION
ANNUAL REPORT 2021



渥美健夫
(1919-1993)

渥 美国際交流奨学財団は故渥美健夫鹿島建設
名誉会長の遺志に基づき日本の国際化の推
進にささやかながらもお役に立ちたいとい
う願いをこめて、1994年4月1日に設立されました。

当財団は諸外国から日本の大学院に留学している優
秀な学生に奨学援助をいたします。日本にやって来た
留学生の皆さんが、学問を成就するだけでなく、豊か
な文化や社会に触れ、より大きな収穫を得ることがで
きますようお手伝いさせていただきたいと思います。

若者たちがより大きな世界を知るよう支援させてい
ただくことによって、人々の心の中に国際理解と親善
の芽が生まれ、やがては世界平和への道が開かれてゆ
くことを願っております。

目次

CONTENTS

理事長挨拶 2

■ 奨学事業

3

渥美奨学金の概要	4
2021年度渥美奨学生（27期生）紹介	5
5月例会	6
蓼科ワークショップ@東京	6
10月例会	7
11月例会	7
12月例会	8
2022新年会	8
2021年度春季研究報告会	9
思い出	10
ラクーン会	12

■ 国際交流事業

13

SGRAの概要	14
第6回 アジア未来会議プレカンファランス	15
第15回 SGRA チャイナ・フォーラム	16
第19回 日韓アジア未来フォーラム	17
第67回 SGRA フォーラム	17
第66回 SGRA フォーラム（第6回国史たちの対話）	18
第68回 SGRA フォーラム	19
第16回・第17回 SGRA カフェ	20

■ 2021年度出版一覧 21

■ 財団運営

業務日誌	22
財務諸表	23
財団人名簿	24
奨学生名簿	25
2021年度の活動にご協力いただいた皆様	32

ごあいさつ

理事長 渥美直紀

27年間理事長として財団の運営に携わってきた母・渥美伊都子に代わり、昨年6月に理事長職を拝命しました。この年報で理事長として皆さまにごあいさつするのは初めてとなります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



この1年を振り返ると、コロナ禍の下で、これまで対面で行ってきた各種事業の運営が思うにまかせぬ状況が続いてまいりました。私としても奨学生や奨学生OBの皆さんと直接会って話をする機会がほとんど持てなかったことを、大変残念に思います。その様な中でも試行錯誤しながら進めてきた例会やフォーラムのオンライン化、ハイブリッド化が軌道に乗ったのは大きな収穫でした。オンラインを活用することにより、世界50ヶ国以上に広がる350名のラクーンと呼ばれる奨学生OBを中核としたグローバルなネットワークコミュニティがうまく機能し、大きな成果をあげることができました。

3月の研究報告会で発表者の指導教授にオンラインで参加していただけたのも嬉しいことでした。先生方から、奨学生の研究の苦労話や人となりをお話していただき、各人の研究内容についての理解を深めることができました。コロナ後も対面とオンラインを併用しながら、多様な事業の展開を図っていきたくと考えています。

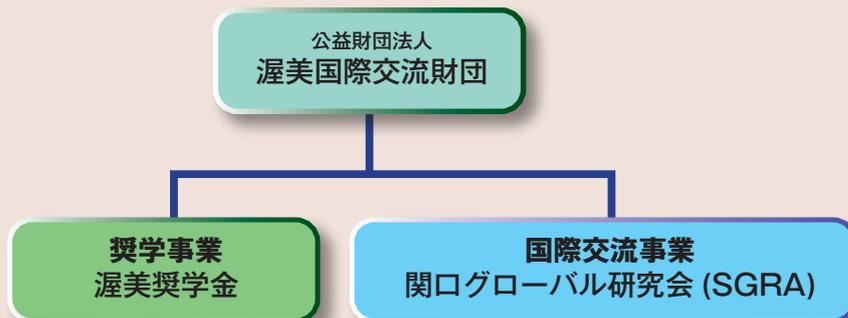
今年度も新たに16名の奨学生が決まりました。渥美奨学生はこれまで外国人に限られていましたが、今年度から初めて5名の日本人を迎えます。日本人奨学生が加わることにより、新しいネットワークの輪が広がり、内容がさらに充実することを期待しています。

ロシアのウクライナ侵攻により、国際情勢はますます混迷を深めています。こうした中で私たちは、良き地球市民の実現を目標にグローバルなネットワークを礎として、ささやかであっても世界の平和と調和ある発展に貢献する活動を展開して行きたいと思えます。

今後とも、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

渥美財団のふたつの公益事業

渥美財団の事業は大きくふたつに分かれます。
奨学事業と国際交流事業（SGRA）です。



奨学事業

奨学事業からネットワークへ

渥 国際交流財団は、奨学生の皆さんに自分とは異なる分野の人々と出会い、話し合う場を提供したいと思います。そのためにも、奨学金は必ずお目にかかってお渡しし、緊密なコミュニケーションをとりながら奨学支援を行います。奨学期間が終わった後も連絡を取り合い、ゆくゆくは世界的な規模の人的ネットワークを築けたら素晴らしいと思っています。

渥美奨学生の同窓会は、渥美健夫氏が描いていた狸にちなんでラクーン会と呼ばれています。

2021 年度の主な活動

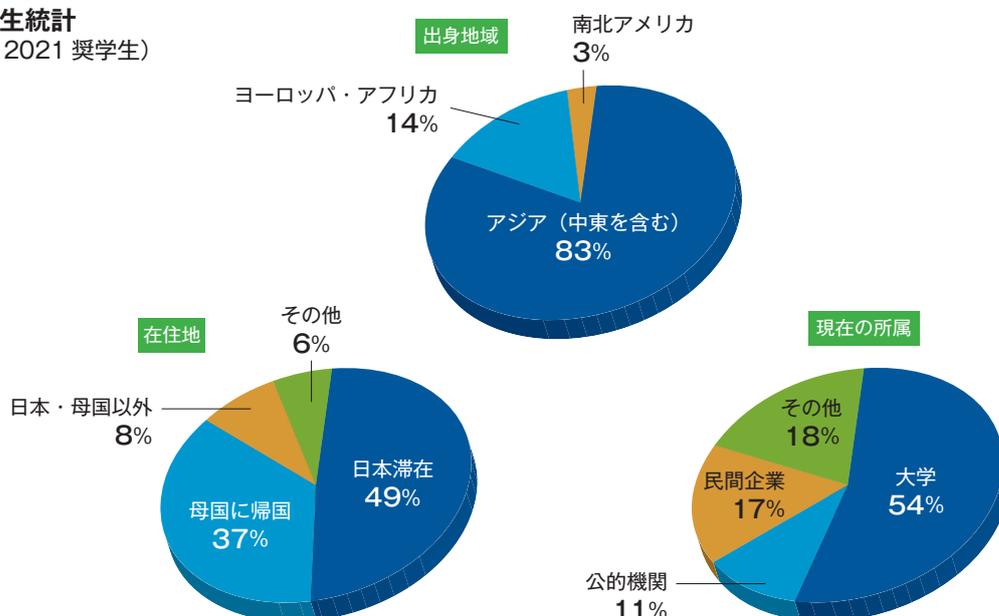
- 5月例会 p6
- 蓼科ワークショップ@東京 p6
- 10月例会・11月例会 p7
- 12月例会 p8
- 2022 新年会 p8
- 2021年度春季研究報告会 p9
- ラクーン会 p12

渥美奨学金の概要

渥美国際交流財団は日本の大学院博士課程に在籍して博士論文を執筆している留学生および日本人学生を対象に、毎年奨学生を募集・選考し、月額20万円（2022年度から25万円）の奨学金を支給しています。支給年限は1年間で、継続は認められません。奨学生の専攻分野と国籍に制限はありません。2021年度（27期生）までに、52ヶ国・地域、334人を支援してきました。

渥美奨学生統計

（1995～2021 奨学生）



募集および選考

■ 応募資格（下記のすべてに該当すること）

1. 日本の大学院の博士課程に在籍し、年度内に博士号を取得する見込みのある方。正規在籍年限を超えたために、あるいは、海外の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍する方も含みます。
2. 渥美奨学金受給期間、所属する大学院研究科（研究室）と居住地が、関東地方（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県）にある方。
3. 国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動に積極的に参加する意志のある方。
4. 日本語が堪能な方（応募書類と面接は日本語だけです）。日本人は外国語能力が高いことが望ましいですが条件ではありません。
5. 渥美奨学金の受給期間に、正規の職（常勤職）に就いたり、他の奨学金を受ける予定のない方（当財団は常勤の方の受給、および月額10万円以上の他の奨学金との重複受給は認めません）。

■ 応募方法

奨学金希望者は、毎年7月以後、各大学院の留学生奨学金担当課または当財団事務局まで、募集要項と申込書をご請求下さい。当財団のホームページからもダウンロードすることができます。応募申込は毎年9月に受け付けます。

■ 選考の方法

予備選考委員による書類と面接での予備審査の後、最終選考委員会による書類選考と面接試験により審査します。

■ 選考の方針（抜粋）

奨学支援を機縁とした渥美財団のネットワークは、どんなにささやかではあっても世界の調和ある発展のために役立たせたいと考えています。そのため、博士論文の研究内容が人類や社会、あるいは自然との調和ある発展に貢献する可能性が大きいと考えられるものを優先します。

2021年度渥美奨学生（27期生）紹介

〈博士論文テーマ〉

**社会問題と帝国問題の狭間で：
帝国日本と植民地台湾における帝国主義論と
社会改造思想**

詹 亜訓 Chan Ya-hsun (台湾)

東京大学大学院
国際社会科学



〈博士論文テーマ〉

**未熟さへの耽溺：日本のアイドルという「協同
の想像体」とファン・ナショナリズム**

カキン、オクサナ

Kakin, Oksana (ロシア)

お茶の水女子大学大学院
〈博士〉ジェンダー学際研究



〈博士論文テーマ〉

**明治日本と近代中国における国語の形成：
「官話」から「国語」、「普通語」へ**

陳 希 Chen Xi (中国)

東京大学大学院
〈博士〉地域文化研究



〈博士論文テーマ〉

**「記憶の場」としての国連記念公園：
戦争基地の文化遺産化**

李 貞善 Lee Chung-sun (韓国)

東京大学大学院
文化資源学



〈博士論文テーマ〉

**中国画家傅抱石の
日本留学に関する研究**

陳 藝婕 Chen Yijie (中国)

総合研究大学院大学
〈博士〉国際日本研究



〈博士論文テーマ〉

**全能性幹細胞におけるレトロトランスポゾン
LINE-1 と MuERV-L の相互作用**

李 典 Li Dian (中国)

慶應義塾大学大学院
分子生物学

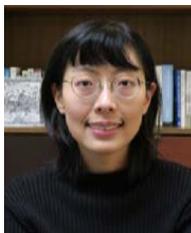


〈博士論文テーマ〉

**東アジアにおける徂徠学を受容：
徂徠学と清朝考証学との交渉を中心に**

蔣 薫誼 Chiang Hsun-yi (台湾)

東京大学大学院
アジア文化研究



〈博士論文テーマ〉

**「文人画」の生成と展開：
概念・中国絵画史学・国画**

李 趙雪 Li Zhaoxue (中国)

東京藝術大学大学院
〈博士〉日本・東洋美術史研究



〈博士論文テーマ〉

**20世紀音楽におけるコラージュの
ポエティクスとポリティクス**

曹 有敬 Cho You-kyung (韓国)

東京大学大学院
美学芸術学



〈博士論文テーマ〉

**Automated Active Learning
for Image Object Detection
モハムドハフィズヒルマンビン
モハムドソフィアン**

Mohd Hafiz Hilman Bin Mohammad Sofian (マレーシア)

芝浦工業大学大学院

〈博士〉機能制御システム



〈博士論文テーマ〉

**「寒冬」の季節の闘争：
中国における性的少数者運動の再考**

郭 立夫 Guo Lifu (中国)

東京大学大学院
地域文化研究



〈博士論文テーマ〉

**風俗と教化—18世紀日本における
朱子学派儒者の政治思想**

王 杏芳 Wang Xingfang (中国)

東京大学大学院
法学政治学（総合法政）



〈博士論文テーマ〉

**Helicobacter pylori 由来の HpSK 遺伝子の過剰
発現によるリグニン分子構造の改変**

胡 石 Hu Shi (中国)

東京農工大学大学院
〈博士〉生物機能システム科学



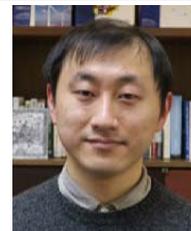
〈博士論文テーマ〉

上代漢文学と律令国家

楽 曲 Yue Qu (中国)

早稲田大学大学院

〈博士〉人文科学



5月例会

2021年5月15日(土)
於：渥美財団ホール&オンライン

2021年度最初の集い。今回もコロナの影響を受けて、対面式とオンラインを併用して開催。参加者全員が自己紹介を兼ねて「子どもの頃に好きだった本・影響を受けた本」についてひとこと話した。



自己紹介の持ち時間は各人3分。子供の時に大好きだった本の話をしたことで、「私も読んでいた」「好きだった」といった声で盛り上がり、初対面の緊張が溶けていった。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/>
05.15 2021 年度奨学生 5 月例会報告 参照。

蓼科ワークショップ @東京

2021年7月2日(金)
於：渥美財団ホール&オンライン

2021年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響を受け、東京での半日ワークショップとなった。今回のテーマは、「ダイバーシティ：あなたは多様性をどこまで許すか」。グループワークやプレゼンテーションを通して、奨学生同士の絆が深まった。

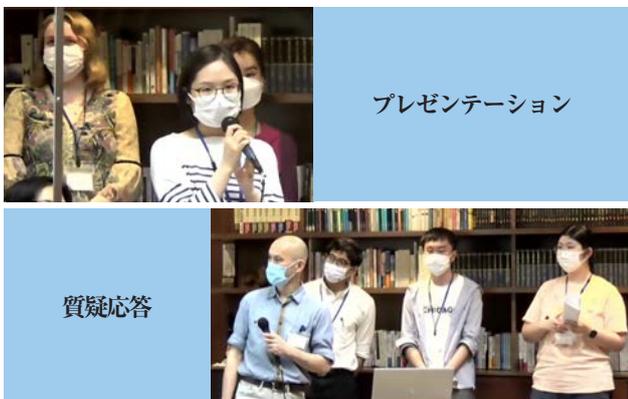


ファシリテーターのシム チュンキャットさん('06 狸)、ミヤドウイ ロスティカさん('10 狸)、沈雨香さん('17 狸)、マグダレナ コウオジェイさん('17 狸)。



グループ
ディスカッション

会場参加3名+オンライン参加1~2名の3グループに分かれ、社会や組織の中で多様な人々が心地よく過ごすためにはどうしたらいいかを話し合った。



プレゼンテーション

質疑応答

先輩ラウン4名の的確なサポートを受け、各グループの発表を聞いたり、意見交換を行ったりしながら、議論がさらに深まっていった。



「多様性」を巡っての様々な知的な交流のなか、「オビニオンを共有しても、実はその中身や認める範囲は人それぞれだ」ということを、改めて実感する機会となった。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 07.02 2021 年蓼科ワークショップ@東京報告 参照。

10月例会

2021年10月23日(土)
於：渥美財団ホール&オンライン

10月例会は『心と身体のウェルビーイング』について考えてみませんか?』をテーマに、ワークショップ形式で開催。CBT(認知行動療法)と心身医学専門の金外淑さん('97狸)がファシリテーターを務めた。



ウェルビーイング(well-being)の観点から心と身体のメンテナンスについて語る金外淑先生。参加者を自己発見の道へと導いていった。

2時間のワークショップとグループディスカッションを通して、個人の課題から社会的課題へ、自己認識から集団意識へと視野が広がっていった。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 10.23 2021 年度奨学生 10 月例会報告 参照。

11月例会

2021年11月27日(土)
於：渥美財団ホール&オンライン

11月例会は、『漆の箸』を作ってみましょう!』をテーマに、体験型ワークショップ形式で開催。日本文化財漆協会理事を務める漆芸作家の吉野貴将先生ご指導のもと、世界で一つ、自分だけの漆の箸を手作りした。



講師の吉野貴将先生。樹液採取から漆の精製、加工過程、漆器の種類など、基礎知識を教えてくださいました。

ベースとなる箸は黒と赤の2種類あり、好きなほうを選び、その上に模様を描いて自分の箸に仕上げる。描く模様色のサンプルを見たり、近くの席どうして見せ合ったりしながら、根気よく仕上げた。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 11.27 2021 年度奨学生 11 月例会報告 参照。

12月例会

2021年12月13日(月)
於：ホテル椿山荘東京

コロナ禍でイベントや活動が制限された2020年度奨学生にも参加を呼びかけ、2021年度奨学生との合同で開催。懇親会、クリスマス会、忘年会を兼ねた楽しいひとときとなった。



親しい仲間との対面での懇親会が久しぶりに実現し、思い出話に花が咲き、そこそこで笑顔がこぼれる。人と人が直接交流するかけがえのない時間を、各々がかみしめた。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 12.13 2021 年度奨学生 12 月例会報告 (2020 年度、2021 年度合同) 参照。

2022 新年会

2022年1月15日(土)
於：渥美財団ホール&オンライン

コロナ禍は収まってきたようにみえたが変異株の出現で、2020年度と2021年度の奨学生と財団スタッフだけが集まり、小規模な新年会と伊都子前理事長のお誕生会となった。にぎやかなパーティーは再び「来年のお楽しみ」となった。



餃子づくり



餅つき



お誕生会



ささやかながら、奨学生と財団スタッフ、ラクーンが皆で力を合わせて餃子とお餅を作り、新年を祝った。恒例の伊都子前理事長の誕生会も行われ、2021年度奨学生たちから、花束やケーキ、プレゼントが贈られた。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 01.15 2022 年新年会報告 参照。

2021 年度春季 研究報告会

2022年3月5日(土)
於：渥美財団ホール&オンライン

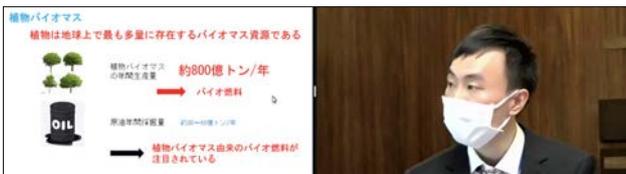
2021年度より、研究報告会を春と秋の2回に分けて開催することになったため、今回春季の発表者は7名。秋季発表予定の7名は、発表者の紹介やタイムキープ役にまわり、報告会をサポートした。



【発表1】陳 希 (東京大学大学院)
「清末の切音字運動」



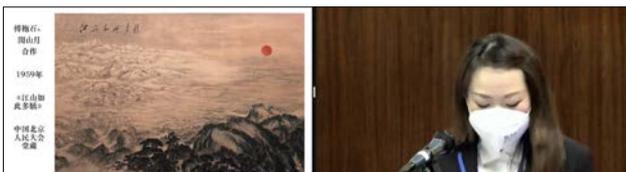
【発表5】オクサナ カキン (お茶の水女子大学大学院)
「『未熟さ』を愛でる：アイドルのファン文化研究を起点とする日本文化論の再考」



【発表2】胡 石 (東京農工大学大学院)
「『厄介者』から『英雄』：リグニンの改良」



【発表6】モハマド ハフィズ ヒルマン ビン モハマド ソフィアン (芝浦工業大学大学院)
「Semi-Automated Active Learning によるディープラーニングのための画像アノテーションにおける作業時間の削減に関する研究」



【発表3】陳 藝婕 (国立大学法人総合研究大学院大学)
「日本で見た西洋：傳抱石が受けた西洋の影響に関する研究」



【発表7】楽 曲 (早稲田大学大学院) 「上代漢文学と律令国家」



【発表4】李 趙雪 (東京藝術大学大学院)
「『文人画』の生成と展開：概念・中国絵画史学・国画」



オンラインでコメントをお寄せくださった指導教官の先生方。左から順に、中村元哉先生、梶田真也先生、佐藤道信先生、棚橋訓先生、伊東敏夫先生、河野貴美子先生。



発表後はオンライン参加の指導教授、財団役員から、それぞれの発表者にこれまでの研究成果や研究者としての心構えなどについて、ご示唆や激励をいただいた。今後、ラクーンとして、新たな一歩を踏み出される皆様のご活躍をお祈りします。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 03.05 2021 年度奨学生春季研究報告会報告 参照。

思い出

1994年4月1日
文部科学省にて設立許可証を受領。

2021年6月に退任された渥美伊都子前理事長に、設立当初を振り返り、その思い出を語っていただいた。



渥美国際交流財団は設立28年を迎え、その間の奨学生は年々増えて350人となり、お陰様で事業は順調に続けております。

生前、主人は、建設業も海外への思いから、アジアやアメリカの国々の方達と交流を続けておりましたので、私どもは、その遺志を引継ぎ、家族で奨学財団を設立することに致しました。

毎年の奨学生が少人数の財団ですので、事務局に来て頂いて奨学金を手渡したり、学業の様子をお聞きしたりするだけでなく、日本を知って頂きたいと思って季節ごとの年中行事を毎年続けています。

夏休みには軽井沢の別荘でバーベキューパーティーを開いて家族で楽しみ、秋には鹿島建設の都内の工事現場見学、冬には新年会でお餅つき、春にはひな人形を飾って祝いながら研究報告会、そして、最後の食事会は、奨学生達のお国料理のレストランで会食をして別れを惜しみます。

このところ、コロナ禍のため、皆さんとの会食ができず、とても残念です。

今後も、渥美奨学生のネットワークがますます発展することを願っています。

渥美伊都子

お世話になった方々



最初の選考委員の先生方の丁寧な審査のおかげで、渥美財団にはとても優秀な奨学生が集まるようになりました。1996年11月17日撮影。前列左より：渥美伊都子理事長、青木生子選考委員長、畑村洋太郎先生、後列左より：蟻川芳子先生、石倉洋子先生、田村次朗先生、今西淳子常務理事。



元文部次官の井内慶次郎先生には、財団を設立する時から大変お世話になりました。「奨学事業の評価は20年が単位です」という貴重なアドバイスをいただきました。



渥美財団は女性の財団だからとご紹介いただき、日本女子大学の学長・理事長として日本の女子教育の発展に貢献された青木生子先生が最初の選考委員長をお引き受けくださいました。



中曽根康弘先生には設立当初より変わらずご支援いただきました。1995年3月4日の渥美財団設立記念講演会、1999年7月21日の設立5周年記念シンポジウムでお話しくださいました。



源氏物語絵巻研究の第一人者でおられる秋山光和先生には設立当初より評議員をお願いしました。渥美奨学生の第1期生から今に至るまで美術史の研究者が多いです。



評議員の山縣睦子様（前列左）には、栃木県矢板の山縣有朋記念館に奨学生全員をお招きいただき、「究極の山林」の育て方についてお話を伺いました。

奨学生の皆さんと（'94～'98年）

夏



1995年から2009年まで、毎年8月に奨学生の皆さんとご家族を軽井沢に招待しました。最終日には、渥美別荘でバーベキュー、子どもたちは庭を駆け回り、スイカ割りを楽しみます。2010年以後は蓼科のチェルトの森に行っています。

秋



1995年9月26日、鹿島建設渥美会の方からお誘いいただき川崎人口島の海底トンネル工事を見学しました。1997年に開通した東京湾アクアラインです。これをきっかけに鹿島建設の工事現場や研究所の見学が年中行事になりました。

冬



毎年1月には鹿島新館/渥美財団ホールで新年会を開催します。中庭ではみなさん交代でお餅つきをし、お雑煮やあんころ餅にさせていただきます。渥美家の鶯の家紋のついた漆の重箱おせち料理も紹介します。最後はビンゴで盛り上がります。

春



3月の研究報告会ではその年の奨学生の皆さんに、博士論文の内容を、子どもにもわかるように、15分間で発表していただきます。当初はパワーポイントではなくオーバーヘッドプロジェクターに紙資料を映写して発表しました。昭和3年に私がイタリアのローマで生まれた時に、祖母が日本から送ってくれたお雛様の段飾りを飾って、皆さんの卒業をお祝っています。



1996年4月5日、記念すべき第1期生と最後の食事会。第1期生の話合いから同窓会（ラクーン会）が結成されました。



ラクーン会



世界各地で開催されるラクーン（渥美奨学生）の同窓会。長引くパンデミックで、なかなか各地でのラクーン食事会を開催することができないなか、2021年度はオンラインを中心に計4回の開催となった。

台湾Vラクーン会 2021年7月23日(土)



東京2020オリンピック開会式の真っ最中に開催された台湾Vラクーン会。台湾ラクーン会が担当する第6回アジア未来会議プレカンファランスの開会式について、活発な議論が交わされた。

京都ラクーン会 2021年11月20日(土)



第15回SGRAチャイナ・フォーラムの後、コロナの合間に対面で懇親会を開催。幹事のソンヤさん（'12狸）、京都在住の李周浩さん（'98狸）、ブレンサインさん（'01狸）、李暉さん（'13狸）、イザベルさん（'17狸）、ジュンノハラさん（'19狸）が集い、うれしい再会となった。

真夏のVラクーン会 2021年8月14日(土)



午後8時（日本時間）、遠くはイタリアやオーストラリアから、20名を超えるラクーンがオンラインで集まった。久しぶりの「再会」だったが、話題はやはりコロナ。内輪で盛り上がる「おしゃべり」にも、コロナとグローバル化の負の問題が垣間見られた。

年末Vラクーン会 2021年12月28日(火)



第1期1995年度から今年度2021年度まで30名を超えるラクーンたちが、ウクライナ、イタリア、トルコ、インド、オーストラリア、フィリピン、中国、韓国、香港、日本の各地から参加してくれ、楽しいひとときを過ごした。

ラクーン理事、お疲れ様でした

最初のラクーン理事である、高俣俊さん（'95狸）、金外淑さん（'97狸）、李恩民さん（'97狸）が今期で理事交代となりました。渥美財団の発展にお力をお貸し下さりありがとうございました！



国際交流 事業

良き地球市民の実現をめざす

渥 美財団の国際交流活動を担うのが、SGRA（関口グローバル研究会）です。SGRAは、地球社会の平和と調和ある発展に寄与する研究と学術交流を推進するため、一定分野の専門家ではなく、広く社会全般を対象にフォーラム、レポート、メールマガジン、ホームページ等を通じて社会に発信しています。

2021 年度の主な活動

- 第6回 アジア未来会議プレカンファランス p15
- 第15回 SGRAチャイナ・フォーラム p16
- 第19回 日韓アジア未来フォーラム p17
- 第67回 SGRAフォーラム p17
- 第66回 SGRAフォーラム（第6回国史たちの対話） p18
- 第68回 SGRAフォーラム p19
- 第16回 SGRAカフェ p20
- 第17回 SGRAカフェ p20

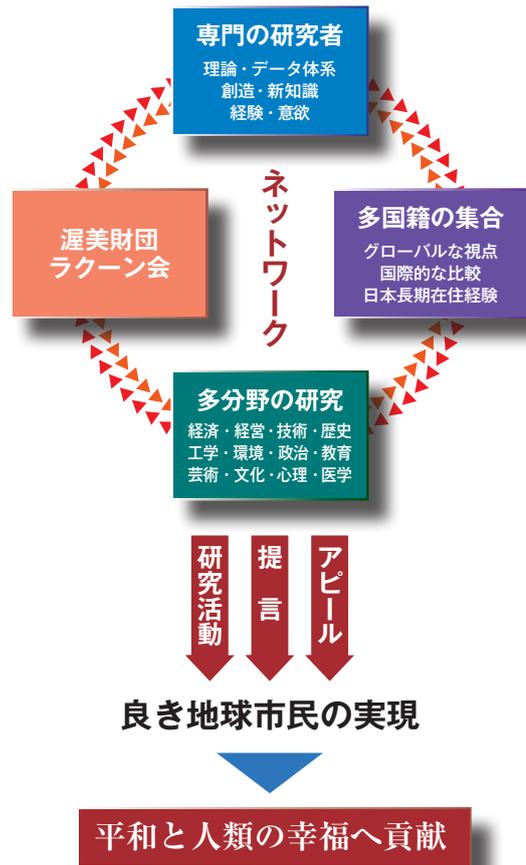
SGRAの概要



SGRAとは

関口グローバル研究会（Sekiguchi Global Research Association/SGRA）は、良き地球市民（Global Citizen）の実現に貢献することを目標に2000年に設立されました。渥美国際交流財団の所在地、東京都文京区「関口」に因みます。SGRAは日本の大学院で博士号の取得を目指して研究を行い、渥美奨学生として共に過ごした外国人および日本人の研究者が中心となり、現代の課題に立ち向かうための研究や提言を、フォーラムやレポート等を通じて社会に発信しています。幅広い研究領域を包括した国際的かつ学際的な活動が狙いで、多国籍の研究者が広汎な知恵とネットワークを結集し、多面的なデータを用いて分析・考察を行います。

SGRAの特徴



主な事業

アジア未来会議

国際的かつ学際的なアプローチを基本として、グローバル化に伴って生起するアジアそして地球社会の様々な課題を多面的に議論する〈場〉を提供します。毎回20か国以上から500人を超える参加者を得て、2年に1度、アジア各地で実施しています。

海外の研究機関等との共同プロジェクト

- **日台アジア未来フォーラム**
台湾の大学と共同で毎年開催。日本、台湾に共通する社会科学、人文科学のテーマを考察するフォーラム。
- **SGRA チャイナ・フォーラム**
北京を拠点とする「清華東亜文化講座」の協力を得て、北京を中心とした中国の大学や研究所で毎年開催。文化に焦点を当てて日中交流史の再検討を試みるフォーラム。
- **日韓アジア未来フォーラム**
韓国（財）未来人力研究院との共同開催。社会科学や人文科学における諸課題を複眼的に考察するフォーラム。
- **日比共有型成長セミナー**
1970年代に日本が成し遂げた「共有型成長」の研究をキーに据え、フィリピンにおける諸課題を検討するセミナー。

SGRA フォーラムなどの学術交流事業

以下の8つのカテゴリーから導き出されるテーマに沿った円卓会議やフォーラムなどの学術交流活動を行います。

- ・ グローバル化と地球市民
- ・ 構想アジア
- ・ 環境とエネルギー
- ・ 科学技術と人間社会
- ・ 東アジアの人材育成
- ・ 東アジアの安全保障と世界平和
- ・ 宗教と現代社会
- ・ ジェンダーと社会

その他、SGRA ふくしまスタディツアーやSGRA カフェなどを随時実施しています。SGRA 活動の成果は優秀論文集、SGRA レポート、SGRA ホームページ、SGRA メールマガジン等で発信しています。

SGRA かわらばん

SGRA フォーラム等のお知らせと、世界各地からのSGRA会員のエッセイを、毎週木曜日に電子メールで配信しています。SGRA かわらばんは、どなたにも無料でご購読いただけます。購読ご希望の方は、ホームページから自動登録していただけます。



第6回アジア未来会議プレカンファランス

ポストコロナ時代における国際関係—台湾から見るアジア

日時：2021年8月26日（木）
方法：オンライン
言語：中英・中日同時通訳
主催：渥美国際交流財団関ログローバル研究会（SGRA）
共催：中国文化大学

新型コロナウイルスの世界的な流行により、第6回アジア未来会議（AFC#6）は、2022年8月に延期。本年は完全オンライン形式によるプレカンファランスを開催した。オンラインへの参加登録は15カ国から669名。午前中はオンラインによる基調講演とシンポジウム、午後はブレイクアウト機能を利用して、優秀論文25本の口頭発表が行われた。



司会の林孟蓉・アジア未来会議台湾執行委員会委員長。

第1部 基調講演

「アジアはどこに向かうのか？：疾病管理が政治に巻き込まれた時」



講師の吳玉山・中央研究院院士。

第2部 シンポジウム

「ポストコロナ時代における国際関係—台湾から見るアジア」



（左から順に）モデレーターの徐興慶・中国文化大学学長（第6回アジア未来会議副会長）、パネリストの松田康博・東京大学教授、李明・政治大学教授、ケヴィン ヴィラノバ・フィリピン大学准教授、徐遵慈・中華經濟研究院台湾東南アジア国家協會研究センター主任。講師の吳玉山先生を交えての討論が行われた。

第3部は次ページへ→

パンデミック渦中のプレカンファランス

パンデミックの深刻化により、1年間の延期を余儀なくされた本大会に代わり開催されたプレカンファランス。一日限りであったが充実したイベントが展開された。

基調講演は中央研究院の吳玉山院士による「アジアは何処に向かうのか？：疾病管理が政治に巻き込まれた時」。吳院士は「高度な国際協力活動であるべき国際感染症対策が、新冷戦の波に翻弄されてしまっている」と分析し「防疫を国際政治から切り離し、協力可能なセクターが一致して、政治的な融和をはかる」必要性を強調した。引き続きシンポジウムでは台湾、日本、フィリピンのパネリストが、防疫に対する台湾のユニークな立場、ASEANが中心となった対策の必要性などについての議論を行った。

午後の部では、優秀論文賞の授与式、アジア未来会議優秀論文賞受賞者20名、台湾特別優秀論文賞受賞者5名の発表が、オンラインのブレイクアウトルーム機能を使って行われた。

第3部 AFC 優秀論文、台湾特別優秀論文賞授与式及び論文発表



優秀論文賞授与式は、午前中とは一変して和やかな雰囲気にも包まれた。その後、3つの分科会室（ブレイクアウトルーム）で6セッションに分かれて20本のAFC6A優秀論文と5本の台湾特別優秀論文の口頭発表が行われた。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/> 第6回アジア未来会議プレカンファランス「ポストコロナ時代における国際関係—台湾から見るアジア」報告 参照

第15回 SGRA チャイナ・フォーラム

アジアはいかに作られ、
モダンはいかなる変化を生んだのか？
—空間アジアの形成と生活世界の近代・現代—

日 時：2021年11月20日（土）

方 法：オンライン

言 語：日中同時通訳

共同主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）、
北京大学日本文化研究所、清華東亜文化講座

後 援：国際交流基金北京日本文化センター

「アジアという空間が翻訳・留学などによっていかに作られたのか？」さらに、その時空間において「modernや globalization などがいかなる生活様式・思考様式の変容をもたらしたのか？」を、概念語や日常語の視点からいかに捉えるのかを考察。北京大学では20名近い在籍生を集めて分会場を設け、京都の本会場（インパクトハブ京都）ではスタジオさながらの、万全の体制を整えた。



ご講演のベースとなった
山室信一先生の近著



講演者である京都大学名誉教授山室信一先生の知名度に加え、コメンテーターとして清華大学教授の王中忱先生と劉曉峰先生、北京第二外国语学院教授の趙京華先生、そして香港城市大学教授の林少陽先生というパワフルな学者群が加わり、600名を超える大勢の参加者を得て、チャイナ・フォーラム史上最大の盛会となった。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/> 孫建軍「第15回 SGRA チャイナ V フォーラム『アジアはいかに作られ、モダンはいかなる変化を生んだのか？—空間アジアの形成と生活世界の近代・現代—』報告」参照

第19回 日韓アジア未来フォーラム

岐路に立つ日韓関係：これからどうすればいいか

日 時：2021年5月29日（土）
 方 法：渥美財団ホール&オンライン
 言 語：日韓同時通訳
 主 催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）
 共 催：未来人力研究院

2001年以来の20年間で、初めてのオンライン開催となった。日韓関係の現状を打開するためには何をすべきなのか。政府は何をすべきで、研究者には何ができるのか。日韓関係の専門家を日韓それぞれ4名ずつ招き、日韓の基調報告をベースに討論と質疑応答を行った。



【講演1】小此木政夫慶應義塾大学名誉教授は、長期的に見れば新しいアイデンティティの誕生と日韓の世代交代が相互関係の不幸な歴史の清算を促進するとした。



【講演2】李元徳国民大学教授は、米中戦略競争が激化する中日韓は多層かつ多次元的な協力を推進する方向に進むことが望ましいと述べた。



指定討論では、沈揆先生と伊集院敦先生から、講演に対するコメントが寄せられた。

自由討論では、金志英先生、西野純也先生、小針進先生、朴栄濬先生が加わり、活発な議論が交わされた。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/> 金雄熙「第19回日韓アジア未来フォーラム『岐路に立つ日韓関係：これからどうすればいいか』報告」参照

第67回 SGRAフォーラム

誰一人取り残さない： 如何にパンデミックを乗り越え SDGs実現に向かうか—世界各地からの現状報告

日 時：2021年9月23日（木・祝）
 方 法：渥美財団ホール&オンライン
 言 語：日本語
 主 催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）
 共 催：東北亜未来構想研究所（INAF）

パンデミックに覆われた世界でSDGsの理念と目標をいかに実現するかを途上国の事例を取り上げながら議論した。ディスカッションでは、貧困や戦乱にあえぐ途上国の発表者たちからSDGsの目標達成の難しさが指摘され、理念と現実のギャップ、問題の深さが浮き彫りになった。



第1部は佐渡友哲先生（日本大学大学院講師、INAF理事）の基調講演「SDGs時代における私たちの意識改革」。第2部はフェルディナンドCマキトさん（'95狸）、杜世鑫さん（INAF）、ダルウィツシュホサムさん（'09狸）、李鋼哲さん（'99狸）、モハメドオマルアブディンさん（'14狸）による世界5地域の状況報告。第3部は羽場久美子先生と三村光弘さんを交えた討論が行われ、渥美財団理事・INAF理事長の平川均先生による総括で締めくくった。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/> 李鋼哲「第67回SGRAフォーラム『誰一人取り残さない：如何にパンデミックを乗り越えSDGs実現に向かうか—世界各地からの現状報告—』報告」参照

第66回 SGRA フォーラム

第6回日本・中国・韓国における 国史たちの対話の可能性 「人の移動と境界・権力・民族」

日 時：2021年9月11日（土）
方 法：オンライン
言 語：日中韓3言語同時通訳
主 催：渥美国際交流財団関ログローバル研究会（SGRA）

第6回国史たちの対話では、問題提起で人の移動について近代日本の経験が具体例として提示され、続く指定討論と自由討論では時代、国や地域による違いや比較が議論された。異なる専門分野の歴史研究者が同一テーマで議論し、対話を深めることができ、参加者のネットワークの発展にも繋がった。自由な討論に時間を割くというオンライン開催のメリットを生かした今回の実験的な試みは多大な成果を残した。

問題提起

第1セッションは、塩出浩之先生の問題提起。テーマは「人の移動から見る近代日本：国境・国籍・民族」。多様な角度から紹介された事例は、これまで気づけなかった歴史の重層性を想起させた。



午前10時（日本時間）、総合司会の李恩民先生の開会挨拶から「対話」が始まった。

ディスカッション

第3・第4セッションでは、劉傑先生の論点整理を受け、過去5回の参加者が多数参加し、鄭淳一、彭浩両先生の司会で自由闊達な討論が行われた。続いて宋志勇、三谷博両先生による総括、趙琬先生による挨拶で閉会。



セッションの最後は、「対話が続けられるのは、質の高い同時通訳あってこそ」と、通訳者の方々への感謝の言葉で締めくくられた。

SGRA Kokushi Newsletter (国史メールマガジン) 配信中

「日本・中国・韓国における国史たちの対話」の関係者によるエッセイを、毎月1回、日本語・中国語・韓国語の3言語で同時に配信しています。どなたでも無料で購読していただけます。



指定討論

第2セッションでは、日中韓2名ずつの指定討論者によるコメントの後、塩出先生を交えて前半の自由討論が行われた。異なる時代、異なる地域で人の移動が発生する政治、経済的理由を探ることができた。



左から司会の南基正先生、指定討論者の趙阮先生、張佳先生、榎本渉先生、韓成敏先生、秦方先生、大久保健晴先生。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
金キョンテ「第6回国史たちの対話『人の移動と境界・権力・民族』レポート」参照

国史対話プロジェクトの経緯

「国史たちの対話」プロジェクトは、日本・中国・韓国の各国の歴史認識を左右する「国史研究者」同士の対話がまだ深められていないという認識から、自国の歴史を専門とする各国の研究者たちの対話・交流を目的として2016年に始まった。国境を越えて多くの参加者が集い、各国の国史の現状と課題や、個別の実証研究をめぐって、議論と交流を深めてきた。第1回は「日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性」(2016年)、第2回は「蒙古襲来と13世紀モンゴル帝国のグローバル化」(2017年)、第3回は「17世紀東アジアの国際関係—戦乱から安定へ」(2018年)、第4回は「『東アジア』の誕生—19世紀における国際秩序の転換」(2020年)、第5回は「19世紀東アジアにおける感染症の流行と社会的対応」(2021年)、第6回は「人の移動と境界・権力・民族」(2021年)。3言語の同時通訳を通じたフォーラムにおける対話だけでなく、3言語に対応したレポート(講演録)の作成と配布、メールマガジン等を通じ、6年にわたる蓄積から、各国の国史研究者350人を超すネットワークとして成長している。

第68回 SGRA フォーラム

夢・希望・嘘 —メディアとジェンダー・セクシュアリティの 関係性を探る

日時: 2022年2月20日(日)

方法: オンライン

言語: 日本語

主催: 渥美国際交流財団関口グローバル研究会 (SGRA)

メディアはどのようにジェンダーやセクシュアリティの理解/誤解に影響を与えているのか? 視聴者やファンはどのようにメディアと接しているのだろうか? 社会を動かすために、メディアをどのように活用することができるのか? 現代におけるメディアとジェンダー/セクシュアリティの関係性を掘り下げ、探った。



基調講演は津田塾大学のアレクサンドラ ハンプルトン先生。講演の後は3名の元渥美奨学生、ズザンナ バラニャク平田さん('19狸)、于寧さん('20狸)、洪ユン伸さん('08狸)が各20分の発表を行った。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
デール・ソイヤ「第68回 SGRA フォーラム『夢・希望・嘘—メディアとジェンダー・セクシュアリティの関係性を探る』報告」参照

第16回 SGRA カフェ

安全であること

—環境と感覚、ジェンダー、人種、セクシュアリティから考える

日 時：2021年7月17日（土）
 方 法：京都会場（Impact Hub Kyoto） & オンライン
 言 語：日本語
 主 催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

日本社会は「安全」だと言われているが「安全」であるということは何を指しているのだろうか？ 様々な立場や視点から「安全」の意味を考え直し社会的構造やその構造が個人に及ぼす影響について考える SGRA 関西初のトークイベント。

中島幸子さん（NPO 法人レジリエンス）をはじめ、3名の活動家たちと活発な議論が交わされた。



会場のインパクトハブ京都からオンラインで配信された。司会はソイヤ デール（'12 狸）さん、サポート役はイザベル ファスペンダー（'17 狸）さん。参加登録者は 100 名を超えた。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>

ソイヤ・デール「第 16 回 SGRA カフェ『安全であること—環境と感覚、ジェンダー、人種、セクシュアリティから考える—』報告」参照。

第17回 SGRA カフェ

国境を超えたウクライナ人

日 時：2022年3月21日（月・祝）
 方 法：オンライン
 言 語：日本語
 主 催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

ウクライナ出身のオリガ ホメンコさん（'04 狸）が、疎開先の欧州の都市から講演。2月に出版したばかりの著書『国境を超えたウクライナ人』の紹介と共に、日本人が知らないウクライナ、紀元前から続くウクライナの歴史と文化、ウクライナ人にとっての国境の意味とは、などについて語ってくれた。戦禍の中にあるウクライナの方々の気持ちがオリガさんを通じて伝わってきた。



日本で「ロシア」と思われている「ウクライナ」



ゲストに群像社の島田進矢さんをお迎えし（写真左）、対話者、質問者として中央大学の犬川真先生にご参加いただいた（写真右）。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/> 三宅綾「第 17 回 SGRA カフェ『国境を超えたウクライナ人』報告」参照。

2021年度出版一覧



第 6 回アジア未来会議
優秀論文集 (6A)

アジアの未来へ
—私の提案 Vol.6A

2022年2月22日発行



SGRA レポート92

第 13 回 SGRA チャイナ・
フォーラム講演録 (日中合冊)

国際日本学としての
アニメ研究
—メディアミックスと
キャラクター共有の歴
史的展開

大塚 英志、秦 剛

2021年6月18日発行



SGRA レポート93

第 14 回 SGRA チャイナ・
フォーラム講演録 (日中合冊)

東西思想の接触圏
としての日本近代
美術史再考

稲賀繁美

2021年6月18日発行



SGRA レポート94
(日本語版)

第 65 回 SGRA フォーラム
講演録

第5回 日本・中国・韓国
における国史たちの
対話の可能性

—19 世紀東アジアにおける
感染症の流行と社会的対応

朴 漢珉、市川智生、余 新忠

2021年10月8日発行



SGRA レポート94
(中国語版)

第 65 届 SGRA 论坛講演録

第五届 日本・中国・韓国
国史对话的可能性

— 19 世纪东亚传染病的流行和
社会对

朴 汉珉、市川智生、余 新忠

发行日 2021年12月15日



SGRA レポート94
(韓国語版)

제 65 회 SGRA 포럼

제 5 회 한국·일본·중국
간 국사들의 대화 가능성 :
19 세기 동아시아에서의 전염병 유행
과 사회적 대응

박 한민, 이치가와 토모오,
위 신중

발행일 2021년 12월 15일



SGRA レポート95

第 19 回日韓アジア未来フォー
ラム講演録

岐路に立つ日韓関係:
これからどうすれば
いいか

小此木 政夫、李 元徳

2021年11月17日発行



SGRA レポート97

第 67 回 SGRA フォーラム
講演録

「誰一人取り残さない」
如何にパンデミックを
乗り越え SDGs 実現に
向かうか

—世界各地からの現状報告

佐渡友 哲

2022年2月10日発行

2021年度 業務日誌

4月5日～9日	4月例会：個人面談
5月15日	第36回理事会（2020年度事業及び決算報告 その他）（於：渥美財団ホール&オンライン） 5月例会：「子供のときに好きだった本・影響を受けた本」（於：渥美財団ホール&オンライン）
29日	第19回日韓アジア未来フォーラム「岐路に立つ日韓関係：これからどうすればいいか」（於：渥美財団ホール&オンライン）
31日	第28回日比持続可能な共有型成長セミナー「持続可能な共有型成長のポリシーブリーフ」（オンライン）
6月1日	2020年度年報発行
3日	第15回評議員会（2020年度事業及び決算報告 役員選任 その他）（於：KIビルラウンジ&オンライン）
6日	第37回理事会（理事長、常務理事選任）（オンライン）
18日	SGRA レポート第92号：第13回 SGRA チャイナ・フォーラム講演録（日中合冊） 「国際日本学としてのアニメ研究—メディアミックスとキャラクター共有の歴史的展開—」発行 SGRA レポート第93号：第14回 SGRA チャイナ・フォーラム講演録（日中合冊） 「東西思想の接点圏としての日本近代美術史再考」発行
7月1日	2022年度奨学生募集要項ホームページで公開、関東地方の大学院に通知
2日	7月例会：蓼科ワークショップ@東京「ダイバーシティ：あなたは多様性をどこまで許すか」（於：渥美財団ホール&オンライン）
17日	8月例会：第16回 SGRA カフェ 「安全であること—環境と感覚、ジェンダー、人種、セクシュアリティから考える—」（於：京都会場（Impact Hab Kyoto）&オンライン）
23日	台湾Vラクーン会
27日	第29回日比持続可能な共有型成長セミナー「地域通貨の可能性」（オンライン）
8月14日	2021年真夏のVラクーン会
26日	第6回アジア未来会議プレカンファランス（オンライン） 「ポストコロナ時代における国際関係—台湾から見るアジア」
9月1日	2022年度奨学生応募受付開始
1日～7日	9月例会：個人面談
11日	第66回 SGRA フォーラム：第6回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性 「人の移動と境界・権力・民族」（オンライン）
23日	第67回 SGRA フォーラム「誰一人取り残さない：如何にパンデミックを乗り越え SDGs 実現に向かうか—世界各地からの現状報告—」（於：渥美財団ホール&オンライン）
28日	第30回日比持続可能な共有型成長セミナー「地方分権と国内収益の割当て」（オンライン）
30日	2022年度奨学生応募締め切り（応募者総数97名）
10月8日～9日	2022年度奨学生書類選考
8日	SGRA レポート第94号：第65回 SGRA フォーラム講演録（日本語版） 「第5回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性—19世紀東アジアにおける感染症の流行と社会的対応—」発行
23日	10月例会「『心と身体のウェルビーイング』について考えてみませんか?」（於：渥美財団ホール&オンライン）
11月1日～5日	2022年度奨学生候補者予備面接（於：渥美財団ホール&オンライン）
17日	SGRA レポート第95号：第19回日韓アジア未来フォーラム講演録 「岐路に立つ日韓関係：これからどうすればいいか」発行
20日	第15回 SGRA チャイナ・フォーラム 「アジアはいかに作られ、モダンはいかなる変化を生んだのか?—空間アジアの形成と生活世界の近代・現代—」（オンライン） 京都ラクーン会（於：ビストロソルト）
27日	11月例会：「『漆の箸』を作ってみましょう!」講師 吉野 貴将（於：渥美財団ホール&オンライン）
12月2日	第31回日比持続可能な共有型成長セミナー「地税による持続可能な共有型成長の可能性」（オンライン）
4日	2022年度奨学生最終選考会（於：渥美財団ホール&オンライン）
13日	12月例会 2020年度・2021年度合同忘年会（於：椿山荘ホテル東京）
15日	SGRA レポート第94号：第65回 SGRA フォーラム講演録（中国語版・韓国語版） 「第5回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性—19世紀東アジアにおける感染症の流行と社会的対応—」発行
18日	第38回理事会（2022年度奨学生の決定、2021年度事業の及び収支の中間報告 その他） （於：渥美財団ホール&オンライン）
28日	年末Vラクーン会
1月15日	1月例会 新年会（於：渥美財団ホール&オンライン）
2月2日～7日	2月例会：個人面談
10日	SGRA レポート第97号：第67回 SGRA フォーラム講演録「『誰一人取り残さない』如何にパンデミックを乗り越え SDGs 実現に向かうか—世界各地からの現状報告—」発行
19日	第32回日比持続可能な共有型成長セミナー「持続可能な共有型成長と地方組織」（オンライン）
20日	第68回 SGRA フォーラム 「夢・希望・嘘—メディアとジェンダー・セクシュアリティの関係性を探る—」（オンライン）
22日	第6回アジア未来会議優秀論文集（6A）「アジアの未来へ—私の提案 Vol.6A」発行
3月5日	第39回理事会（2022年度事業計画及び収支予算 その他）（於：渥美財団ホール&オンライン） 3月例会：2021年度奨学生春季研究報告会（於：渥美財団ホール&オンライン）
21日	第17回 SGRA カフェ「国境を超えたウクライナ人」（オンライン）
22日	3月例会：最後の食事会（於：リーガロイヤル東京）

財務諸表

貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	5,307,193
2 固定資産	
(1) 基本財産	4,695,467,027
(2) 特定資産	370,784,908
(3) その他の固定資産	398,259
固定合計	5,066,650,194
資産合計	5,071,957,387
II 負債の部	
1 流動負債	210,222
2 固定負債	5,040,000
負債合計	5,250,222
III 正味財産の部	
1 指定正味財産	5,066,251,935
(うち基本財産への充当額)	(4,695,467,027)
(うち特定資産への充当額)	(370,784,908)
2 一般正味財産	455,230
正味財産合計	5,066,707,165
負債及び正味財産合計	5,071,957,387

正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	43,856,269
特定資産運用益	189,600
受取補助金	2,000,000
受取寄附金	36,056,963
為替差益	251,616
雑収益	28,105
経常収益計	82,382,553
(2) 経常費用	
事業費	76,651,900
管理費	5,730,653
経常費用計	82,382,553
評価損益等調整前当期経常増減額	0
評価損益等計	0
当期経常増減額	0
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期一般正味財産増減額	0
一般正味財産期首残高	455,230
一般正味財産期末残高	455,230
II 指定正味財産増減の部	
受取寄附金	4,200,000
基本財産運用益	114,400,000
基本財産評価損益等	▲ 160,000,000
特定資産評価損益等	8,957
一般正味財産への振替額	▲ 64,079,159
当期指定正味財産増減額	▲ 105,470,202
指定正味財産期首残高	5,171,722,137
指定正味財産期末残高	5,066,251,935
III 正味財産期末残高	5,066,707,165

評議員

永山 治	[評議員会会長]、中外製薬株式会社名誉顧問
秋山 豪	鹿島建設株式会社社友
渥美 雅也	一般財団法人東京水産振興会会長
蟻川 芳子	学校法人日本女子大学元学長・評議員
井上 博允	東京大学名誉教授、元日本学術振興会監事
加藤 秀樹	一般社団法人構想日本代表
鹿取 克章	外務省参与、元駐インドネシア日本大使
久保 哲也	GCM インベストメンツ株式会社取締役会長
佐藤 直子	東京国際大学教授
嶋津 忠廣	前渥美国際交流財団事務局長
高橋 甫	公益財団法人日本テニス協会常務理事
遠山 友寛	TMI 総合法律事務所パートナー 弁護士
畑村 洋太郎	東京大学名誉教授、株式会社畑村創造工学研究所代表
船橋 洋一	一般財団法人アジア・パシフィック・イニシアティブ理事長
堀田 健介	株式会社堀田総合事務所代表取締役会長
山本 尚子	公益財団法人伊藤謝恩育英財団常務理事・事務局長

理事

渥美 直紀	[理事長]、鹿島建設株式会社相談役
今西 淳子	[常務理事]
上野 宏	元国土交通省政策統括官
片岡 達治	元癌研究会主任研究員
金 雄熙	韓国・仁荷大学経営学部国際通商学科教授
施 建明	東京理科大学経営学部ビジネスエコノミクス学科教授
平川 均	名古屋大学名誉教授、国士舘大学客員教授
ヨシアト トモコ スリスマンティヨ	千葉大学環境リモートセンシング研究センター教授
李 周浩	立命館大学情報理工学部情報理工学科教授
劉 傑	早稲田大学社会科学総合学術院教授
角田 英一	[事務局長]

監事

中村金郎	鹿島建設株式会社社友
藤井 純一	公益財団法人かめのり財団理事

顧問

明石 康	国立京都国際会館理事長
渥美 伊都子	前渥美国際交流財団理事長

選考委員 (最終選考)

田村 次朗	[選考委員長]、慶應義塾大学法学部教授 (法学)
奥田 暁代	慶應義塾大学法学部教授 (アメリカ文学)
金子 成彦	東京大学名誉教授、早稲田大学理工学術院教授 (機械工学)
佐藤 道信	東京藝術大学美術学部教授 (美術史)
細田 衛士	慶應義塾大学名誉教授、中部大学経営情報学部教授 (環境経済学)
山科 章	東京医科大学名誉教授、桐生大学副学長 (医学)

奨学生名簿

【1995年度奨学生】

Bambling, Michele バンプリング、ミッシェル [アメリカ] コロンビア大学/慶應義塾大学 [博士] (美術史) : (在アブタビ)

Gao Lingna 高 玲娜 [中国] 一橋大学 [博士] (社会学) : (在横須賀)

Gao Weijun 高 偉俊 [中国] 早稲田大学 [博士] (建設工学) : 北九州市立大学国際環境工学部教授、西安交通大学兼職教授 (在北九州)

Jin Xi 金 熙 [中国] 東京工業大学 [博士] (物理情報学) : Sheerwood 科技発展有限公司社長 (在北京)

Kwack Jae-woo 郭 在祐 [韓国] 学習院大学 [博士] (美術史) : 日本大学文理学部、学習院大学文学部非常勤講師

Maquito, Ferdinand マキト、フェルディナンド [フィリピン] 東京大学 [博士] (経済学) : フィリピン大学ロスバニョス校准教授 (在フィリピン・ロスバニョス)

Park Chul-ju 朴 哲主 [韓国] 慶應大学 [博士] (商学) : 三育大学経営学部 (在ソウル)

Park Jung-ran 朴 貞蘭 [韓国] 日本女子大学 [博士] (社会福祉学) : 仁済大学社会福祉科教授 (在釜山)

Shi Jianming 施 建明 [中国] 筑波大学 [博士] (数理工学/社会工学) : 東京理科大学経営学部教授

Yao Hui 葉 会 [中国] 早稲田大学 (日本文学) : 法政大学国際文化情報学部非常勤講師

Youn Seok-hee 尹 錫姫 [韓国] 専修大学 [博士] (商学) : 仁徳大学観光学部非常勤講師 (在ソウル)

○阪神大震災被災特別奨学生

Chen Xiao 陳 曉 [中国] 神戸大学 (医学)

Hong Der-juinn 洪 徳俊 [台湾] 神戸大学 [博士] (経営学) : 国立中央大学企業管理系副教授 (在台湾・桃園)

Wang Libin 王 立彬 [中国] 神戸大学 (自然科学) : (株) 東洋インキ製造 (在上海)

【1996年度奨学生】

Chantachote, Viravat チャンタチョテ ビラバット [タイ] 慶應義塾大学 [博士] (法学) : タマサート大学法学部准教授 (在バンコク)

Gulench, Selim Yucel グランチ、セリム [トルコ] 東京大学 (政治学) : コンヤ市庁国際関係・観光部 (在トルコ・コンヤ市)

Khin Maung Htwe キン マウン トウエ [ミャンマー] 早稲田大学 [博士] (応用物理) : Hotel AKIMOMI 社長 (在マンダレー)

Kim Woong-hee 金 雄熙 [韓国] 筑波大学 [博士] (国際政治経済学) : 仁荷大学経営学部国際通商学科教授 (在仁川)

Lee Nae-Chan-huey 李 來贊 [韓国] 慶應義塾大学 [博士] (管理工学) : 漢城大学経済学部教授 (在ソウル)

Nam Ki-jeong 南 基正 [韓国] 東京大学 [博士] (国際関係論) : ソウル大学日本研究所教授 (在ソウル)

Park Keun-hong 朴 根弘 [韓国] 東京工業大学 [博士] (生命理工学)

Qiao Xin 喬 辛 [中国] 東京工業大学 [博士] (無機材料工学)

Trede, Melanie Maria トレーデ、メラニー [ドイツ] ハイデルベルグ大学/学習院大学 [博士] (日本美術史) : ハイデルベルグ大学東洋美術史研究所教授 (在ハイデルベルグ)

Zhao Qing 趙 青 [中国] お茶の水女子大学 (比較文化)

Zhu Tingyao 朱 庭耀 [中国] 東京大学 [博士] (船舶海洋工学) : 日本海事協会技術研究所首席研究員/ハルビン工科大学客員教授

【1997年度奨学生】

De Maio, Silvana デマイオ、シルバーナ [イタリア] 東京工業大学 [博士] (日本語教育) : イタリア文化会館館長

Fang Mei-li 方 美麗 [台湾] お茶の水女子大学 [博士] (言語学) : (在ロンドン)

Isananto, Winurshito イサナント、ウィヌルシト [インドネシア] 慶應義塾大学 [博士] (応用化学) : インドネシア工業省マナド工業規格と研究研究所 : (在インドネシア)

Kim Woe-sook 金 外淑 [韓国] 早稲田大学 [博士] (健康科学) : 兵庫県立大学名誉教授 (在神戸)

Katagiri, Laohaburanakit Kanokwan (Noi) 片桐カノックワン、ラオハブラナキット (ノイ) [タイ] 筑波大学 [博士] (言語学、日本語教育) : チュロンコン大学文学部日本語講座准教授 (在バンコク)

Lee Hyang-chul 李 香哲 [韓国] 一橋大学 [博士] (経済学) : 光云大学日本学科教授 (在ソウル)

Li Enmin 李 恩民 [中国] 一橋大学 [博士] (社会学) : 桜美林大学グローバル・コミュニケーション学群教授

Nizamidin Jappar ニザミディン ジャッパル [アメリカ] 東京大学 [博士] (応用化学) : 米国アップル社 (在カルフォルニア)

Wang Yuepeng 王 岳鵬 [中国] 東京大学 [博士] (医学) : 上海交通大学医学院附属新華病院科研中心 (在上海)

Williams, Duncan ウィリアムズ、ダンカン [イギリス] ハーバード大学/上智大学 [博士] (宗教学) : 南カルフォルニア大学宗教学部教授 (在ロサンジェルス)

Zhang Shaomin 張 紹敏 [中国] 東京大学 [博士] (医学) : (株) 壺盤会館代表 (在岡山)

【1998年度奨学生】

Adiole, Emmanuel アディオレ、エマニュエル [ナイジェリア] 東京大学 [博士] (政治学) : ナイジェリア・エネルギー環境研究所主任研究員 (在ナイジェリア)

Cao Bo 曹 波 [中国] 早稲田大学 [博士] (建設工学) : 株式会社北京NTT データジャパン

He Zuyuan 何 祖源 [中国] 東京大学 [博士] (先端学際工学/光電子工学) : 上海交通大学光ファイバ技術国家重点実験室教授 (在上海)

Hu Jie 胡 潔 [中国] お茶の水女子大学 [博士] (文学)

Hong Der-juinn 金 宰晟 [韓国] 東京大学 (仏教学) : 仏教大学院大学 (在ソウル)

La In-sook 羅 仁淑 [韓国] 早稲田大学修了、流通経済大学 [博士] (経済学) : 国士舘大学政経学部非常勤講師、NPO 暖流代表

Lee Joo-ho 李 周浩 [韓国] 東京大学 [博士] (電子工学) : 立命館大学情報理工学部情報理工学科教授 (在滋賀)

Mailisha マイリーサ [中国] 一橋大学 [博士] (社会学) : 昭和女子大学国際学部国際学科教授

Sun Yanping 孫 艶萍 [中国] 東京大学 [博士] (医学) : コロンビア大学医学部准教授 (在ニューヨーク)

Wu Hongmin 呉 弘敏 [中国] 東京工業大学 [博士] (精密工学) : フクダ電子 (株)

Xu Xiaoyuan 許 曉原 [中国] 東京大学 [博士] (農業生命科学) : コロンビア大学ナオミベリーセンター研究員 (在ニューヨーク)

【1999年度奨学生】

Coimbra, Maria Raquel Moura コインブラ、マリア・ハケウ・モウラ [ブラジル] 東京水産大学 [博士] (資源育成学) : ペルナンブコ州立大学農水学部 (在ブラジル・ペルナンブコ)

Hong Kyung-jin 洪京珍 [韓国] 東京工業大学 [博士] (化学環境工学): 韓国環境省 (在ソウル)

Hou Yankun 侯延昆 [中国] 東京工業大学 [博士] (物理電子化学/葉学): UBS Investment Research (在香港)

Ju Yan 具延 [中国] 筑波大学 [博士] (農学): メッツォペーパージャパン (株)

Li Kotetsu 温井(李) 鋼哲 [中国] 立教大学 (経営学/経済学): 一般社団法人・東北亜未来構想研究所所長 (在金沢)

Musikasinthorn, Prachya ムシカシントーン、プラチャー [タイ] 東京水産大学 [博士] (資源育成学): カセサート大学水産学部助教授 (在バンコク)

Vu Thi Minh Chi ブティミンチー [ベトナム] 一橋大学 [博士] (地域研究): ベトナム社会科学院人間科学研究所研究員 (在ハノイ)

Wang Dan 王旦 [中国] 東京藝術大学 [博士] (音楽): バイオリンスト/昭光物産 (株)

Yang Jie-chi 楊接期 [台湾] 東京工業大学 [博士] (教育工学): 国立中央大学網路学習科技研究所教授 (在台湾・桃園)

Yeh Wen-chang 葉文昌 [台湾] 東京工業大学 [博士] (電子物理工学): 島根大学総合理工学研究科准教授 (在松江)

Zhou Haiyan 周海燕 [中国] 東京医科歯科大学 [博士] (医学): たてやまクリニック院長 (在富山)

学人員聯誼会会長 (在武漢)

【2000年度奨学生】

Jin Zhengwu 金政武 [中国] 東京工業大学 [博士] (物質科学): 華為技術日本株式会社 船橋ラボ CTO

Jung Jae-ho 鄭在皓 [韓国] 慶應義塾大学 [博士] (物質科学): 三星電子 LCD 総括 LCD 開発室 (在天安)

Jung Sung-chun 鄭成春 [韓国] 一橋大学 [博士] (経済学): 対外経済政策研究院 (KIEP) (在世宗市)

Ko Hee-tak 高熙卓 [韓国] 東京大学 [博士] (総合文化): (株) グローカル・ニュース (Glocal News) 代表理事 (在済州)

Lim Chuan-Tiong 林泉忠 [香港] 東京大学 [博士] (国際政治学): 武漢大学国際問題研究院教授、副院長・日本研究センター執行主任 (在武漢)

Molnar, Margit モルナル、マルギット [ハンガリー] 慶應義塾大学 [博士] (経済学): OECD 研究員 (在パリ)

Naiwala Pathirannehelage Chandrasiri ナイワラ パティランネヘラーゲ チャンドラシリ [スリランカ] 東京大学 [博士] (電子情報): 工学院大学情報学部准教授

Ren Yong 任永 [中国] 群馬大学 [博士] (医学): ニューヨーク州立大学医学部研究員 (在米バッファロー)

Suzuki Sato, Hiromi スズキ サトウ、ヒロミ [メキシコ] 慶應義塾大学 (経済学): (在東京)

Wu Yuping 武玉萍 [中国] 千葉大学 [博士] (医学): 理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター (CDB) (在神戸)

Xu Xiangdong 徐向東 [中国] 立教大学 [博士] (社会学): (株) 中国市場戦略研究所代表取締役

Zeng Zhinong 曾支農 [中国] 東京大学 [博士] (アジア文化): 湖北省留学人員聯誼会会長 (在武漢)

【2001年度奨学生】

Borjigin, Burensain ボルジギン、ブレンサイン [中国] 早稲田大学 [博士] (東洋史): 滋賀県立大学人間文化学部教授 (在彦根市)

Fan Jianting 範建亭 [中国] 一橋大学 [博士] (経済学): 上海財経大学国際工商管理大学院助教授 (在上海)

Jeon Jin-hwan 全振煥 [韓国] 東京工業大学 [博士] (建築材料): 鹿島建設 (株) 技術研究所主任研究員

Jiang Huiling 蔣惠玲 [中国] 横浜国立大学 [博士] (電子情報工学): (株) NTT ドコモ研究開発センター主査

Jin Xianghai 金香海 [中国] 中央大学 [博士] (政治学): 逝去

Kostov, Vlaho コストブ、ブラホ [マケドニア/イタリア] 東京都立科学技術大学 [博士] (システム工学): パナソニック・ヨーロッパ社 (在フランクフルト)

Lee Hyun-young 李炫瑛 [韓国] お茶の水女子大学 [博士] (比較文化): 建国大学校師範大学日本語教育科助教授 (在ソウル)

Lee Young-suk 李英淑 [韓国] 筑波大学 [博士] (教育学): (在釜山)

Liang Xingguo 梁興国 [中国] 東京大学 [博士] (化学生命工学): 中国海洋大学食品科学と工程学院教授 (在青島)

Lwin U Htay ユティルイン [ミャンマー] 東京医科歯科大学 [博士] (社会医学及び公衆衛生学): ロイヤル・ルイン・メディカルセンター所長 (在ヤンゴン)

Qi Jinfeng 奇錦峰 [中国] 東京医科歯科大学 [博士] (薬理学): (在佛山市)

Sri Sumantyo, Josaphat Tetuko ヨサファット テトオコ スリスマンティヨ [インドネシア] 千葉大学 [博士] (人工システム科学): 千葉大学環境リモートセンシング研究センター教授

【2002年度奨学生】

Baek In-soo 白寅秀 [韓国] 早稲田大学 [博士] (商学)

Chen Tzu-ching 陳姿菁 [台湾] お茶の水女子大学 [博士] (国際日本学): 開南大学応用日本語学科・応用中国語学科副教授 (在台北)

Jo Gyu-hwan 曹奎煥 [韓国] 早稲田大学 [博士] (地質学): JX 石油開発株式会社 (在クアラルンプール)

Hu Bingqun 胡炳群 [中国] 日本工業大学 [博士] (システム工学): 日豊興業株式会社 (在名古屋/広州)

Iko Pramudiono イコ プラムディオノ [インドネシア] 東京大学 [博士] (電子情報工学): 三井物産 (株) 事業統括部 (在シンガポール)

Mandah, Ariunsaihan マンダフ、アリウンサイハン [モンゴル] 一橋大学 [博士] (地域社会学): (在米カンザス)

Mukhopadhyaya, Ranjana ムコパディヤーヤ、ランジャンナ [インド] 東京大学 [博士] (宗教学宗教学): デリー大学・東アジア研究科教授 (在デリー)

Park Young-june 朴榮濬 [韓国] 東京大学 [博士] (国際社会科学): 国防大学校安全保障大学院教授 (在ソウル)

Sun Jianjun 孫建軍 [中国] 国際基督教大学 [博士] (日本語学): 北京大学外国語学院准教授 (在北京)

Wang Xi 王溪 [中国] 東京大学 [博士] (電子情報工学): Fujitsu Network Communications, Research Scientist (在米テキサス)

Yimit, Abliz イミテ、アブリズ [中国] 横浜国立大学 [博士] (人工環境システム): 新疆大学化学化工学院教授 (在ウルムチ)

Yu Xiaofei 于曉飛 [中国] 千葉大学 [博士] (社会文化科学): 日本大学法学部特任教授

【2003年度奨学生】

Chae Sang-heon 蔡相憲 [韓国] 東京農工大学 [博士] (生物生産学): 天安蓮庵大学新環境園芸科教授 (在韓国・天安)

Chang Kuei-e 張桂娥 [台湾] 東京学芸大学 [博士] (学校教育学(言語文化)): 東呉大学日本語文学系副教授 (在台北)

Husel フスレ [中国] 東京外国語大学 [博士] (地域文化): 昭和女子大学国際学部国際学科教授、昭和女子大学大学院生活機構研究科教授

Kim Hyeon-wook 金賢旭 [韓国] 東京大学 [博士] (総合文化(表象文化)): 国民大学日本学科教授 (在ソウル)

Kwak Ji-woong 郭智雄 [韓国] 立教大学 [博士] (経営学): 九州産業大学商学部商学科准教授 (在福岡)

Lin Shaoyang 林少陽 [中国] 東京大学 [博士] (総合文化(超域文化)): 香港城市大学中文及び歴史学科教授 (在香港)

Lu Yuefeng 陸躍鋒 [中国] 東京海洋大学 (海洋情報システム): Merit Education Inc., President; Merit College, Principal (在トロント)

Piao Zhenji 朴貞姬 [中国] 明海大学 [博士] (応用言語学): 北京語言大学外国語学部東方言語文化学院教授 (在北京)

Tisi, Maria Elena ティシ、マリア エレナ [イタリア] 白百合女子大学 [博士] (児童文学): ポローニャ大学助教 (在ポローニャ)

Yamaguchi, Ana Elisa ヤマグチ、アナエリーザ [ブラジル] 一橋大学 [博士] (社会学): (在ロンドン)

Yun Hui-suk ユン ヒスク [韓国] 東京大学 [博士] (材料学): 韓国機械研究院付属材料研究所 (KIMS) (在韓慶南道昌原)

Zang LI 臧俐 [中国] 東京学芸大学 [博士] (学校教育学(教育方法論)): 東海大学准教授

[2004 年度奨学生]

Ampong, Beryl Nyamekye アンボン、ベリル・ニヤメケ [ガーナ] 東京医科大学 [博士] (薬理学): (在ワシントン D.C.)

Chin, Angelina Yan Yan チン、アンジェリーナ [アメリカ] カリフォルニア大学サンタクルーズ校/お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー研究): Pomona College 准教授 (在カリフォルニア)

Khomenko, Olga ホメンコ、オリガ [ウクライナ] 東京大学 [博士] (地域文化研究): キエフ・モヒーラビジネススクール助教 (在キエフ)

Lee Jea-woo 李 濟宇 [韓国] 早稲田大学 [博士] (地盤地震工学): Executive Director - Engineering GS Engineering & Construction Australia Pty Ltd (在メルボルン)

Lee Sung-young 李 承英 [韓国] 筑波大学 [博士] (言語学): 光云大学日本学科 (在ソウル)

Meng Zimin 孟 子敏 [中国] 筑波大学 [博士] (言語学): 松山大学人文学部教授 (在松山)

Mullagildin, Rishat ムラギルディン、リシャット [ロシア] 慶応大学 (環境デザイン): RAUM Architects 社長 (在ロシア、ウファ)

Napoleon ナポレオン [インドネシア] 東京工業大学 [博士] (機械制御システム): パークレイズ証券

Sonntag, Mira ゾンターク、ミラ [ドイツ] 東京大学 [博士] (宗教史学): 立教大学文学部キリスト教学科准教授

Tsai Ying-hsin 蔡英欣 [台湾] 東京大学 [博士] (法学): 国立台湾大学法学部副教授 (在台北)

Yang Myung-ok 梁明玉 [韓国] お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学): 建国大学行政大学院社会福祉学科招聘教授 (在ソウル)

Ye Sheng 叶盛 [中国] 東京大学 [博士] (先端学際工学): 東莞九域星医薬科技有限公司 (在香港)

[2005 年度奨学生]

Bao Lianqun 包聯群 [中国] 東京大学 [博士] (言語情報科学): 大分大学経済学部教授 (在大分)

Han Junqiao 韓 珺巧 [中国] 早稲田大学 [博士] (建築学): (在パークレー)

Han Kyoung-ja 韓 京子 [韓国] 東京大学 [博士] (日本文化研究): 青山学院大学文学部准教授

Jiang Susu 江 蘇蘇 [中国] 横浜国立大学 [博士] (物理情報工学): 東芝インフラシステムズ株式会社鉄道システム事業部

Kim Bum-su 金 範洙 [韓国] 東京学芸大学 [博士] (社会系教育(歴史)): (社) 国際交流振興協会理事長、東京学芸大学特命教授 (国際担当)、(韓国) 国立公州大学客員教授、(中国) 湖南師範大学客員教授

Kim Yeon-kyeong 金 娟鏡 [韓国] 東京学芸大学 [博士] (心理学): 鹿児島大学教育学部家政専修准教授 (保育・児童学担当)

Lan Hung-yueh 藍 弘岳 [台湾] 東京大学 [博士] (地域文化研究): 中央研究院歴史言語研究所 (在台北)

Tenegra, Brenda Resurecion Tiu テネグラ、ブレンダ レスレション ティウ [フィリピン] お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学): Accenture Inc. (在フィリピン・セブ島)

Vo Chi Cong ヴォー チー コン [ベトナム] 東京工業大学 (数理・計算科学): FPT Software Japan

Wang Xueping 王 雪萍 / Arakawa Yuki 荒川 雪 [中国] 慶応義塾大学 [博士] (政策メディア): 東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科教授

Wong Kin Foon Kevin 王 健歡 [香港] 総合研究大学院大学 [博士] (統計科学): Citizens Bank, Quantitative Analyst (在ボストン)

Zhao Changxiang 趙長祥 [中国] 一橋大学 [博士] (商学): (在上海)

[2006 年度奨学生]

Chu Xuan Gao チュ・スワン・ザオ [ベトナム] 総合研究大学院大学 [博士] (文化人類学): ベトナム社会科学院文化研究所上席研究員 (在ハノイ)

Hu Xiuying 胡 秀英 [中国] 千葉大学 [博士] (看護教育学): 四川大学華西病院看護学部 (在成都)

Hyun Seung-soo 玄 承洙 [韓国] 東京大学 [博士] (地域文化): (在ソウル)

Li Chengri 李 成日 [中国] 慶応義塾大学 [博士] (政治学): 中国社会科学院亚太与全球戦略研究院助理研究員 (在北京)

Liang Yun-hsien 梁 蘊嫻 [台湾] 東京大学 [博士] (比較文化): 元智大学応用外語学科助理教授 (在台北)

Mohottala, Shirmila モホッタラ、シャミラ [スリランカ] 東京大学 [博士] (情報理工学): (在スリランカ)

Pantcheva, Elena Latchezarova パンチュワ、エレナ [ブルガリア] 千葉大学 [博士] (日本研究): (在ブルガリア)

Seo Kyoung-sook 徐 景淑 [韓国] 慶応義塾大学 (美学美術史): (在ソウル)

Sim Choon Kiat シム チュンキヤット [シンガポール] 東京大学 [博士] (教育学): 昭和女子大学人間社会学部現代教養学科准教授 (学科長)

Sun Junyue 孫 軍悦 [中国] 東京大学 [博士] (言語情報科学): 立命館大学国際関係学部 (在京都)

Weerasinghe, Nalin ウィーラシンハ、ナリン [スリランカ] 電気通信大学 [博士] (電子工学): シュルンベルジェ株式会社

Woo Seong-hoon 禹 成勲 [韓国] 東京大学 [博士] (建築学): (在仁川)

[2007 年度奨学生]

Chan Chai-fong 詹 彩鳳 [台湾] 東京大学 (地域文化研究): (在台北)

Deng Fei 鄧 飛 [中国] 東京大学 [博士] (先端エネルギー学): Super C Inc. 代表

Gangbagana ガンバガナ [中国] 東京外国語大学 [博士] (地域文化研究): 内モンゴル民族大学 (在フフホト)

Kim Min-suk 金 玟淑 [韓国] 早稲田大学 [博士] (建築学): 日本ミクニヤ株式会社 (在京都)

Lee Eung-yong 李 垠庚 [韓国] 東京大学 [博士] (地域文化研究): ソウル大学日本研究所 HK 研究教授 (在ソウル)

Mijiti, Abuduxukuer メジテ、アブドシュクル [中国] 東京医科大学 [博士] (外科学): 新疆ウイグル自治区カシュガル地区第一人民病院腫瘍センターセンター長 (在カシュガル)

Park So-hyun 朴 昭炫 [韓国] 東京大学 [博士] (文化資源学): 韓国文化観光研究院文化芸術政策担当責任研究員 (在ソウル)

Porrás, Rojas Oscar ボラス、ロハス オスカル [コスタリカ] 東京海洋大学 [博士] (応用環境システム学): コスタリカ大学太平洋岸校副学長 (在コスタリカ・プンタレナス)、東京海洋大学研究員

Quan Mingai 権明愛 [中国] 日本社会事業大学 [博士] (社会福祉学): 十文字学園女子大学人間生活学部講師

Wang Jianhong 王劍宏 [中国] 早稲田大学 [博士] (建設工学): 山東大学齊魯交通学院教授 (在済南)

Yan Hainian 顔海念 / Ohinata Mine 大日向美音 [中国] 東京大学 [博士] (国際保健学): (株) 中外製薬医薬安全性本部 PV サイエンス部

Yaroslav, Shulatov ヤロスラフ、シュラトフ [ロシア] 慶應義塾大学 [博士] (政治学): 早稲田大学政治経済学術院准教授

[2008年度奨学生]

Feng Kai 馮凱 [中国] 東京大学 [博士] (機械工学): 湖南大学機械学院教授 (在長沙)

Hong Yun-shin 洪 ユンシン [韓国] 早稲田大学 [博士] (国際関係学): 大阪経済法科大学客員研究員

Shiohara Vroni Friederike 塩原フローニ・フリデリケ [ドイツ/スイス] 東京芸術大学 [博士] (文化財保存学): BMW GROUP Japan セールズファンネルマネージャー

Liu Jian 劉健 [中国] 北京大学 / 早稲田大学 [博士] (日本語文化): 首都師範大学専任講師 (在北京)

Lkhamsuren, Lkhagvasuren ハムスレン、ハグワスレン [モンゴル] 早稲田大学 (国際関係学)

Nemekhjargal ネメフジャルガル [中国] 亜細亜大学 [博士] (経済学): 内蒙古大学民族学與社会学学院 (在フフホト)

Phuong, Kimchhayarasy プアン、キムチャイヤラシー [カンボジア] 宇都宮大学 [博士] (物性工学)

Song Gang 宋剛 [中国] 桜美林大学 [博士] (地域文化): 北京外国語大学日本語学院副教授 (在北京)

Võrno, Heli-Liis ヴェルノ、ヘリ リース [エストニア] 学習院大学 (哲学): (在ロンドン)

Wang Wei 王偉 [中国] 千葉大学 [博士] (人工システム): 南京信息工程大学教授 (在南京)

Xiu Zhen 修震 [中国] 東京工業大学 [博士] (機械制御システム): Hikvision USA, Product Manager (在カリフォルニア)

Yuk Jae-hwa 陸載和 [韓国] 武蔵野美術大学 (造形芸術)

Zhang Jian 張建 [中国] 東京大学 [博士] (教育学): 東京電機大学理工学部共通教育群教職課程特任教授

[2009年度奨学生]

Choi Eun-seok 崔恩碩 [韓国] 国民大学 / 東京大学 [博士] (日本史学): 駐広島韓国総領事館先任研究員 (在広島)

Darwishah, Housam ダルウィッシュ、ホサム [シリア] 東京外国語大学 [博士] (地域文化研究): 日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア経済研究所

Kaba Melek カバメレキ [トルコ] 筑波大学 [博士] (文芸・言語): チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学教育学部日本語教育 (在トルコ・チャナッカレ)

Kim Young-soon 金英順 [韓国] 立教大学 [博士] (日本文学): 立教大学文学部非常勤講師

Kwak Young-joo 郭榮珠 [韓国] 千葉大学 [博士] (地球生命圏科学): (独) 土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) 専門研究員

Kwon Nam-hee 権南希 [韓国] 東京大学 (国際法): 関西大学政策創造学部助教 (在大阪)

Rinchin リンチン [中国] 東京外国語大学 [博士] (地域文化研究): 内モンゴル大学モンゴル学研究中心 (在フフホト)

Schicketanz, Erik Christopher シッケタンツ、エリック [ドイツ] 東京大学 [博士] (宗教学宗教史学): 國學院大学神道文化学部助教

Shermatov Ulugbek シェルマトフ、ウルグベック [ウズベキスタン] 明治大学 [博士] (民法学): ウズベキスタン最高裁判所上席法務官 (在タシケント)

Son Joun-ga 孫貞阿 [韓国] 東京大学 [博士] (森林科学): 国立山林科学院森林病害虫研究科 (在ソウル)

Veldkamp, Elmer フェルトカンプ、エルメル [オランダ] 東京大学 [博士] (文化人類学): ライデン大学人文科学科 地域研究所 (LIAS) 韓国学専攻専任講師 (在ライデン)

Ye Kyaw Thu イェ チョウ トウ [ミャンマー] 早稲田大学 [博士] (国際情報通信学)

Zhu Lin 朱琳 [中国] 東京大学 [博士] (アジア政治思想史): 東北大学大学院国際文化研究科准教授 (在仙台)

[2010年度奨学生]

Phramahāchatpong Katapuñño プラマハチャッポン [タイ] 東洋大学 [博士] (仏教学): (在シアトル)

Choi Jung-eun 崔禎恩 [韓国] 東京藝術大学 [博士] (文化財保存学): 国家記録院大統領記録館保存復元課学芸研究士 (在ソウル)

Kiatkobchai Siratsanan キャアコブチャイ・スィラッサナン [タイ] 学習院大学 [博士] (日本語日本文学): (株) アートボックス (在バンコク)

Kim Kyong-tae 金キョンテ [韓国] 高麗大学 / 東京大学 [博士] (歴史学): 全南大学校歴史教育科助教授 (在光州)

Lee Hyun-bon 李賢凡 [韓国] 東京工業大学 [博士] (材料工学): (株) POSCO 研究員 (在全羅南道)

Li Jun 李軍 [中国] 早稲田大学 [博士] (国語教育学): 早稲田大学教育・総合科学学術院講師、慶應義塾大学非常勤講師

Lu Liang 蘆亮 [中国] 東京工業大学 [博士] (原子核工学): 中国科学院近代物理研究所研究員 (在蘭州)

Magid, Evgeni マギッド、イヴゲニ [イスラエル/ロシア] 筑波大学 [博士] (知能機能システム): カザン連邦大学教授 (在ロシア・カザン)

Mya Dwi Rostika ミヤ・ドゥイ・ロスティカ [インドネシア] 国士館大学 [博士] (政治学): 大東文化大学国際関係学部講師

Vigouroux, Mathias Dominique Yves ヴィグル、マティアス [フランス] 二松学舎大学 [博士] (中国学): 二松学舎大学文学部都市文化デザイン学科専任講師

Wang Xin 王昕 / Sakurai Shin 櫻井慎 [中国] 東京医科歯科大学 [博士] (先端医療開発学): エア・ウォーター株式会社

Yoon Jin-hee 尹ジンヒ [韓国] お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー学際研究)

[2011年度奨学生]

Chong Soon-il 鄭淳一 [韓国] 早稲田大学 [博士] (アジア地域文化学): 高麗大学師範大学歴史教育科助教授 (在ソウル)

Ho Van Ngoc ホー ヴァン ゴック [ベトナム] 千葉大学 [博士] (建築都市科学): 鹿島建設 (株) 中部支店建築設計部 (在名古屋)

Kang Moon-hee 姜文熙 [韓国] 日本社会事業大学 (社会福祉学)

Kim Eun-hye 金銀恵 [韓国] ソウル大学 / 東京大学 [博士] (都市社会学): 釜山大学社会学科助教授 (在プサン)

Kim Soongbae 金崇培 [韓国] 延世大学 / 慶應義塾大学 [博士] (国際政治学): 国立釜慶大学人文社会科学部日語日文学部助教授 (在ソウル)

Lee Hyo-jeong 李孝庭 [韓国] 国際基督教大学 [博士] (比較文化): 世宗大学教養学部招聘教授 (在ソウル)

Li Yanming 李彦銘 [中国] 慶應義塾大学 [博士] (政治学): 東京大学教養学部国際コミュニケーションセンター特任講師、慶應義塾大学東アジア研究所訪問研究員

Naheya ナヒヤ [中国] 東京大学 [博士] (地域文化): 内蒙古大学蒙古歴史学系副教授 (在フフホト)

Park Joonui 朴准儀 [韓国] ボストン大学 [博士] (国際政治経済): プリンストン大学国際地域研究所 Fung Global Fellow (Political Economist) (在プリンストン)

Peng Hao 彭浩 [中国] 東京大学 [博士] (日本文化研究): 大阪公立大学大学院経済学研究科教授 (在大阪)

Piao Wenying 朴文英 [中国] 東京医科歯科大学 [博士] (脳神経病態学): 東京医科歯科大学ポスドク研究員

Xie Hui-zhen 謝惠貞 [台湾] 東京大学 [博士] (アジア文化研究): 文藻外語大学日本語文学系助理解教授 (在高雄)

[2012年度奨学生]

Chen Jing-Young 陳景揚 [台湾] 東京大学 (文化人類学): (在台湾)

Choi Seung-won 崔勝媛 [韓国] 東京大学 [博士] (生物科学): 日本たばこ産業株式会社研究開発員

Dale, Sonja デール、ソニヤ [ノルウェー] 上智大学 [博士] (グローバル社会): (在京都)

Flick, Ulrich フリック、ウルリッヒ [ドイツ] ハイデルベルグ大学/早稲田大学 [博士] (東アジア研究): 東北学院大学教養学部言語文化学科講師 (在仙台)

Han Lingji 韓玲姬 [中国] 筑波大学 [博士] (情報メディア): 東京中央日本語学院養成事業部・教務部専任講師

Li Xue 李雪 [中国] 筑波大学 [博士] (文芸・言語): 寧波大学外国語学院日本語学科講師 (在寧波)

Oh Jung-keun 呉正根 [韓国] 横浜国立大学 [博士] (環境リスクマネジメント): 国立環境科学院資源循環研究課研究員 (在仁川)

Park Hyun-jung 朴炫貞 [韓国] 武蔵野美術大学 [博士] (造形芸術): 北海道大学高等教育推進機構科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) 特任講師 (在札幌)

Rio, Aaron リオ、アーロン [アメリカ] コロンビア大学/学習院大学 [博士] (日本美術史): メトロポリタン美術館学芸員 (在ニューヨーク)

Sung Ki-hyuk 成者赫 [韓国] 明治大学 (日本文学)

Uzum, Abdullah ウズム・アブドゥラ [トルコ] 東京農工大学 [博士] (情報工学)

Yin Feilong 尹飛龍 [中国] 東京農工大学 [博士] (機械システム工学): NINA 株式会社

Zheng Xiu 鄭秀 [中国] 東京医科歯科大学 [博士] (消化器病態学)

[2013年度奨学生]

Aroz, Rafael Aingeru アロツ、ラファエル アインゲル [スペイン] 東京大学 [博士] (文化・人間情報学): 上智大学外国語学部イスパニア語学科准教授

Choi Ga-young 崔佳英 [韓国] 東京大学 [博士] (社会学): 全北大学社会科学研究所専任研究員 (在全羅北道全州市)

Hao Liang 郝亮 [中国] 千葉大学 [博士] (人工システム科学): 天津科学技術大学講師 (在天津)

Hsu Han-hsiu 許漢修 [台湾] 筑波大学 [博士] (生命産業科学): 神戸大学科学技術イノベーション研究科学術研究員 (在神戸)

Jin Guiying 金桂英 [中国] 早稲田大学 (日本語教育学): 山梨学院大学グローバルラーニングセンター特任講師 (在山梨)

Lee Saebom 李セボン [韓国] 東京大学 [博士] (地域文化研究): 延世大学国学研究院 HK 研究教授 (在ソウル)

Nordström, Karl Johan ノルドストロム、カールヨハン [スウェーデン] 早稲田大学 [博士] (演劇映像学): 都留文科大学国際教育学科講師

Tamayo, Ruiz Efrain Eduardo タマヨ、ルイス エフライン エドアルド [コロンビア] 東京大学 [博士] (先端学際工学)

Virag, Viktor ヴィラーク、ヴィクトル [ハンガリー] 日本社会事業大学 [博士] (社会福祉学): 日本社会事業大学社会福祉学部准教授

Xie Pu 解璞 [中国] 早稲田大学 [博士] (日本語日本文学): 北京大学外国語学院 (在北京)

Zamengo, Massimiliano ザメンゴ、マッシミリアーノ [イタリア] 東京工業大学 [博士] (蓄熱技術): 東京工業大学物質理工学院助教

Zhang Liang 張亮 [中国] 慶應義塾大学 [博士] (医学研究) (在カナダ)

[2014年度奨学生]

Abdin, Mohamed Omer アブディン、モハメド オマル [スーダン] 東京外国語大学 [博士] (総合国際学): 参天製薬株式会社企画本部 CSR 室

Cakir, Murat チャクル、ムラット [トルコ] 筑波大学 (教育基礎学): 関西外国語大学特任講師 (在大阪)

Chae Kyeong-hoon 蔡炅勲 [韓国] 東京芸術大学 (映像メディア学): 韓国映画振興委員会 (KOFIC) 研究員 (在韓国)

Gerelchuluun, Ariungerel ゲレルチュルン、アリウンゲレル [モンゴル] 筑波大学 [博士] (疾患制御医学): EagleForce Associates Inc. (在バージニア)

Goginashvili, David ゴギナシュヴィリ、ダヴィド [グルジア] 慶應義塾大学 [博士] (政策メディア): 在日ジョージア大使館分析官、慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員

Hu Yanhong 胡艶紅 [中国] 筑波大学 [博士] (歴史・人類学): 華東師範大学馬克思主義学院 (在上海)

Kim Tae-hee 金兌希 [韓国] 慶應義塾大学 [博士] (政治学): the University of Oldenburg (在ドイツ)

Li Hui 李暉 [中国] 東京大学 [博士] (建築学): 奈良文化財研究所アソシエイトフェロー (在奈良)

Li Ting 李婷 [中国] 早稲田大学 [博士] (日本語教育学): 日本大学文学部助教

Mohammad, Jakfar Idrus ムハッマール、ジャクファール・イドルス [インドネシア] 国士舘大学 [博士] (政治学): 国士舘大学 21 世紀アジア学部専任講師

Ryu Chung-hee 柳忠熙 [韓国] 東京大学 [博士] (比較文学比較文化): 福岡大学人文学部東アジア地域言語学科准教授 (在福岡)

Wang Huijun 王慧雋 [中国] 一橋大学 [博士] (日本語教育学): 国立国語研究所プロジェクト非常勤研究員

[2015年度奨学生]

Buritica Alzate, Jiliana ブリティカ アルサテ、フリアナ [コロンビア] 国際基督教大学 [博士] (アーツ・サイエンス) オックスフォード大学近代日本文学学科講師: (在イングランド)

Cassim, Laila Frances カセム、ライラ・フランセス [イギリス] 東京芸術大学 [博士] (美術): 東京大学先端技術研究センター特任助教

Cho Guk 趙国 [韓国] 早稲田大学 [博士] (人文科学): ソウル大学日本研究所客員研究員 (在ソウル)

Feltens, Frank フェルテンズ、フランク [ドイツ] コロンビア大学/学習院大学 [博士] (美術史考古学): フリーア美術館学芸員 (在ワシントン DC)

Giglio, Emanuele Davide ジッリオ、エマヌエーレ ダヴィデア [イタリア] 東京大学 [博士] (アジア文化研究): 身延山大学・国際日蓮学研究所研究員

Grib, Dina グリブ、ディーナ [ロシア] 首都大学東京 [博士] (人間科学): 名古屋大学国際機構国際教育交流センター、文学部人文学研究科特任講師 (在名古屋)

Kim Yul-lee 金律里 [韓国] 東京大学 [博士] (基礎文化研究): (在ソウル)

Li He-shu 李赫書 [台湾] 東京大学 [博士] (アジア文化研究): 東京大学大学院人文社会系研究科研究員

Moon Kyung-nam 文景楠 [韓国] 東京大学 [博士] (哲学): 東北学院大学教養学部言語文化学科准教授 (在仙台)

Park Won-hwa 朴源花 [韓国] 東京大学 (国際社会科学): 東京大学
大学総合教育センター助教

Yan Shulan 顔淑蘭 [中国] 早稲田大学 [博士] (教科教育学): 社会科
学院文学研究所 (在北京)

Yang Yu Gloria ヤン、ユー グロリア [中国] コロンビア大学/東京
大学 [博士] (美術史): 九州大学大学院人文科学研究院広人文学コース講
師 (在福岡)

2016年度奨学生

Chang Wei-jung 張瑋容 [台湾] お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー
学際): 同志社女子大学現代社会学部社会システム学科助教 (在京都)

Cho Ah-ra 曹娥羅 [韓国] ソウル大学/慶應義塾大学 (国際地域学)
韓国国立外交院外交安保研究所日本研究センター研究員 (在ソウル)

Choi Yurina 崔 ユリナ [韓国] 武蔵野美術大学 (造形美術)

Hong Sung-min 洪性珉 [韓国] 早稲田大学 [博士] (人文科学): 東
北亜歴史財団招聘研究委員 (北方民族史専攻) (在ソウル)

Jeon Sang-ryul 全相律 [韓国] 東京大学 (言語情報科学): 神田外語
大学アジア言語学科韓国語専攻語学専任講師

Jiang Jianwei 蒋建偉 [中国] 早稲田大学 [博士] (人文科学): 浙江
師範大学外国語学院 (在浙江)

Lamsal, Bikash ラムサル、ピカス [ネパール] 足利工業大学 [博士] (情
報・生産工学): 鹿島建設技術研究所研究員

Lee Ji-hyeong 李志炯 [韓国] 千葉大学 [博士] (デザイン科学): 駒
沢女子大学人間総合学群住空間デザイン学類講師

Lin Qianqian 林茜茜 [中国] 早稲田大学 [博士] (教科教育学): 同濟
大学専任講師 (在上海)

Morrison, Lindsay Ray モリソン、リンジー レイ [アメリカ] 国
際基督教大学 [博士] (アーツ・サイエンス): 武蔵大学人文学部英語英米
文化学科専任講師

Nam Eui-young 南衣映 [韓国] 東京大学 (学際情報学): 中民社会理
論研究財団 (在ソウル)

Noh Joo-eun 盧ジュウン [韓国] 東京大学 (学際情報学): 東京大学
大学院情報学環特任研究員

2017年度奨学生

Akbari, Hourieh アキバリ、フーリエ [イラン] 千葉大学 [博士] (公
共研究): 白百合女子大学非常勤講師、千葉大学人文社会科学研究所特別
研究員 (在名古屋)

Bajracharya, Dinu バズラチャルヤ、ディヌ [ネパール] お茶の水女
子大学 [博士] (人間発達科学): R & D Bridge Nepal (在カトマンズ)

Chen Yan 陳隽 [中国] 東京大学 (超域文化科学): 京都精華大学マン
ガ学部専任講師、サンネクアニメーション (株) GM

Fassbender, Isabel ファスベンダー、イザベル [ドイツ] 東京外国語
大学 [博士] (国際社会): 同志社女子大学学芸学部国際教養学科助教 (在
京都)

Guarini, Letizia グアリーニ、レティツィア [イタリア] お茶の水女
子大学 [博士] (比較社会文化学): 法政大学国際文化学部国際文化研究科
専任講師

Kim Do-young 金眺眺 [韓国] 総合研究大学院大学 [博士] (日本歴
史研究): 慶北大学校人文学術院HK教授 (在大邱)

Kindstrand, Love シンドストラン、ロヴェ [スウェーデン] シカ
ゴ大学/上智大学 (比較文化研究): 上智大学国際教養学部非常勤講師、
IES 全米大学連盟東京留学センター非常勤講師、シカゴ大学社会科学学科
非常勤講師

Kolodziej, Magdalena コウオジェイ、マグダレナ [ドイツ・ポーラ
ンド] デューク大学/早稲田大学 [博士] (美術史): 東洋英和女学院大学
国際社会学部国際コミュニケーション学科講師

Ofosu, Joseph Ampadu オフォス、ジョセフ アンペドゥ [ガーナ]
東京大学 [博士] (先端エネルギー工学): 九州工業大学ポスドク研究員 (在
北九州)

Park Jong-hyuk 朴鍾燮 [韓国] 東京慈恵会医科大学 [博士] (臨床検
査医学): 日本医科大学スポーツ科学教室ポスドク研究員

Sim Woo-hyang 沈雨香 [韓国] 早稲田大学 [博士] (教育社会学):
早稲田大学国際教養学部助教

Song Han 宋哈 [中国] 東京大学 [博士] (日本文化研究): フェリス
女学院大学文学部日本語日本文学科准教授

Yang Guanqiong 楊冠穹 [中国] 東京大学 [博士] (アジア文化研究):
関西外国語大学外国語学部准教授 (在大阪)

2018年度奨学生

Chiang Yung-po 江永博 [台湾] 早稲田大学 (日本史学): 早稲田大
学史資料センター常勤嘱託

Cho Su-il 趙秀一 [韓国] 東京大学 [博士] (言語情報科学): 東国大
校文化学術院日本学研究所専任研究員 (在ソウル)

Corbel, Amélie コーベル、アメリ [フランス] バリ政治学院 [博士] (比
較政治): 獨協大学外国語学部フランス語学科特任講師

Haritaipan, Lalita ハリタイパン、ラリター [タイ] 東京工業大学 [博
士] (工学機械): リブ・コンサルティング (在バンコク)

Kim Boram 金ボラム [韓国] 東京大学 [博士] (電気系工学): サム
スン電子総合技術院 (在ソウル)

Liang Yihua 梁奕華 [中国] 東京外国語大学 [博士] (言語文化): 広
東外語外貿大学 (在広州)

Min Dong-yup 閔東晔 [韓国] 東京大学 [博士] (地域文化研究): 武
蔵大学人文学部、フェリス女学院大学文学部、学習院大学外国語教育研究
センター、千葉大学教育学部、横浜国立大学都市科学部 非常勤講師

Shorina, Dariyagul ショリナ、ダリヤグル [カザフスタン] 筑波大学(国
際日本研究): 明浜日本語学校開設準備室教員

Wu Xiaoxiao 武瀟瀟 [中国] フランス国立高等研究実習院 (EPHE)
/東京大学 (歴史学・文献学): 東京国立博物館国際交流室アソシエイト
フェロー

Wuerrerr, Stefan ヴューラー、シュテファン・ヨアキム [オーストリ
ア] 東京大学 (超域文化科学): 武蔵大学専任講師

Xie, Fang 解放 [中国] 東京外国語大学 [博士] (言語文化): 吉林大
学外国語学院准教授 (在長春)

Yang Chun-ting 楊淳婷 [台湾] 東京藝術大学 [博士] (芸術環境創造):
東京藝術大学国際芸術創造研究科特任助教

2019年度奨学生

Almerree, Nahed アルメリ、ナーヘド [シリア] 筑波大学 [博士] (文
芸・言語): (在ダマスカス)

Baraniak-Hirata, Zuzanna バラニャク平田、ズザンナ [ポーランド]
お茶の水女子大学 (ジェンダー学際研究): 埼玉大学非常勤講師、聖心女
子大学非常勤講師

Chen Lu 陳璐 [中国] 東京外国語大学 [博士] (言語文化): 上智大
学非常勤講師、早稲田大学非常勤講師

Chen Zhao 陳昭 [中国] 東京大学 (文化人類学): 武蔵大学非常勤講師

Ferré, Antonin フェレ、アントナン [フランス] 東京大学/プリン
ストン大学 (日本語日本文学): プリンストン大学博士課程 (在プリンストン)

Guo Chiyang 郭馳洋 [中国] 東京大学 [博士] (地域文化研究): 東京
大学東アジア藝文書院 (EAA) 特任研究員

Jin Hongyuan 金弘淵 [中国] 東京大学 [博士] (先端生命科学): (株)
リニカル (在神戸)

Kim Sin-hye 金信慧 [韓国] 立教大学 [博士] (コミュニティ福祉学)

Lai Si-hyu 賴 思好 [台湾] 東京大学 [博士] (東アジア思想文化): 中央研究院中国文学与哲学研究所 (在台北)

Lee Taek-jin 李 澤珍 [韓国] 東京大学 [博士] (比較文学・比較文化): 国文学研究資料館機関研究員

Nohara, Jun ノハラ、ジュン [フランス] 東京大学 (国際関係論): 京都産業大学国際関係学部講師 (在京都)

Serena, Franco セレナ、フランコ [イタリア] 慶應義塾大学 [博士] (国際取引法・民法学): 武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部専任講師

Shin Hye-won 申 恵媛 [韓国] 東京大学 [博士] (国際社会・相関社会): 国立大学法人宇都宮大学国際学部助教

Tang Rui 唐 睿 [中国] 東京大学 [博士] (電気系工学): 東京大学工学系研究科電気系工学専攻特任研究員

Wang Wenlu 王 雯璐 [中国] 東京大学 (中国思想文化学): 東京大学国際高等研究所・東京カレッジ特任研究員

Xie Suhang 謝 蘇杭 [中国] 千葉大学 [博士] (人文公共学): 千葉大学非常勤講師

[2020 年度奨学生]

Cho So-jin 趙 沼振 [韓国] 東京外国語大学 [博士] (国際社会): 東京外国語大学特別研究員

Koo Hye-won 具 慧原 [韓国] 東京大学 [博士] (美学芸術学): Dongseo University 研究員 (在韓国)

Lee Su-jin 李 受眞 [韓国] 東京学芸大学 [博士] (教育方法論講座): 浜松学院大学こどもコミュニケーション学科助教 (在静岡)

Liu Yi-chen 劉 怡臻 [台湾] 明治大学 (文化領域): 東京語文学院

Maierdanjiang, Nuermaimaiti マリダン、ヌルマイマイティ [中国] 順天堂大学 (医学研究科神経学): 順天堂大学研究員

Miao Fengke 苗 鳳科 [中国] 中央大学 [博士] (国文学): 中央大学文学部非常勤講師

Newbery Payton, Christopher Laurence ニューベリーペイトン、クリスタファー ローレンス [イギリス] 東京外国語大学 [博士] (言語文化): 東京外国語大学非常勤講師、国士館大学非常勤講師

Shishkin, Victor シーシキン、ヴィクター [ロシア] 東京大学 [博士] (システム創成学)

Wu Ching-wen 呉 勤文 [台湾] 筑波大学 [博士] (国際日本研究): 台湾大学日本語文学科専攻助教授 (在台北)

Yang Sung-yun 梁 誠允 [韓国] 東京大学 [博士] (日本文化研究): 高麗大学校文科大学日語日文学科非常勤講師 (在ソウル)

Yong Xu 雍 旭 [中国] 電気通信大学 [博士] (機械知能システム学): 中国科学院 (在深圳)

Yu Ning 于 寧 [中国] 東京大学 (超域文化科学): 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属教養教育高度化機構特任研究員、国際基督教大学ジェンダー研究センター研究員

Yuan Xiaoyu 元 笑予 [中国] 東京学芸大学 [博士] (学校教育学): 帝京平成大学人文社会学部助教

Yun Jae-un 尹 在彦 [韓国] 一橋大学 [博士] (国際関係論): 一橋大学大学院法学研究科特任講師

[2021 年度奨学生]

Chan Ya-hsun 詹 亞訓 [台湾] 東京大学 (国際社会科学)

Chen Xi 陳 希 [中国] 東京大学 [博士] (地域文化研究): 東京大学特任研究員

Chen Yijie 陳 藝婕 [中国] 総合研究大学院大学 [博士] (国際日本研究): 国際日本文化研究センター博士研究員

Chiang Hsun-yi 蔣 薰誼 [台湾] 東京大学 (アジア文化研究)

Cho You-kyung 曹 有敬 [韓国] 東京大学 (美学芸術学)

Guo Lifu 郭 立夫 [中国] 東京大学 (地域文化研究)

Hu Shi 胡 石 [中国] 東京農工大学 [博士] (生物機能システム科学): 日産化学株式会社

Kakin, Oksana カキン、オクサナ [ロシア] お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー学際研究): (在サンクトペテルブルク)

Lee Chung-sun 李 貞善 [韓国] 東京大学 (文化資源学)

Li Dian 李 典 [中国] 慶應義塾大学 (分子生物学)

Li Zhaoxue 李 趙雪 [中国] 東京藝術大学 [博士] (日本・東洋美術史研究)

Mohd Hafiz Hilman Bin Mohammad Sofian モハマド ハフィズ ヒルマン ビン モハマド ソフィアン [マレーシア] 芝浦工業大学 [博士] (機能制御システム): 日立 Astemo 株式会社

Wang Xingfang 王 杏芳 [中国] 東京大学 (法学政治学 (総合法政))

Yue Qu 樂 曲 [中国] 早稲田大学 [博士] (人文科学)

[2022 年度奨学生]

Ahn Eun-byul 安 ウンビョル [韓国] 東京大学 (学際情報学)

Cheddadi, Mohammed Aqil シェッターディ、モハムメド アキル [モロッコ] 慶應義塾大学 (政策・メディア研究)

Chen Hongyu 陳 虹宇 [中国] 東京大学 (薬科学)

Ding Yi 丁 乙 [中国] 東京大学 (美学芸術学)

Hirota Chieko 廣田千恵子 [日本] 千葉大学 (人文公共学)

Jo Byeong-wook 趙 炳郁 [韓国] 東京大学 (知能機械情報学)

Kato Kenta 加藤健太 [日本] 早稲田大学 (国際コミュニケーション研究)

Kondo Shinji 近藤慎司 [日本] 横浜国立大学 (化学・生命系理工学)

Moharrampour, Zahra モハッラミプール、ザヘラ [イラン] 東京大学 (超域文化科学)

Mori Takato 森 崇人 [日本] 総合研究大学院大学 (高エネルギー加速器科学研究)

Park Joon-hee 朴 峻喜 [韓国] 埼玉大学 (人文社会科学研究)

Prokhorova, Maria プロホロワ マリア [ロシア] 東京外国語大学 (比較文学研究)

Qian Haiying 錢 海英 [中国] 明治大学 (教養デザイン研究)

Takeuchi Kyoko 武内今日子 [日本] 東京大学 (社会文化研究)

Tan Tianyang 譚 天陽 [中国] 一橋大学 法学研究 (法学・国際関係)

Weinek, Nora Beryll ワイネク ノーラ [オーストリア] 一橋大学 (総合社会科学)

2021年度の活動にご協力いただいた皆様

ありがとうございました

奨学事業及び公益目的事業への寄附・賛助・支援

団体

(株)アクト・テクニカルサポート	中外製薬(株)	(株)イリア
鹿島建設(株)	鹿島リース(株)	鹿島プロパティマネジメント(株)
鹿島建物総合管理(株)	鹿島道路(株)	かたばみ興業(株)
ケミカルグラウト(株)	(株)三井住友銀行	大興物産(株)
大和証券(株)	東亜産業(株)	

個人

渥美伊都子 藤井純一 井手園子

国際交流事業への寄附・賛助・支援

団体

中外製薬(株)	(株)イリア	鹿島プロパティマネジメント(株)
鹿島建物総合管理(株)	(公財)かめのり財団	キッコーマン(株)
(株)小堀鐸二研究所	スナヤン開発	(株)虎屋
大興物産(株)	(株)都市環境エンジニアリング	

個人

阿部和彦	足立憲彦	明石 康	雨宮孝子	網倉和仁
蟻川芳子	浅野豊美	麻生 泰	渥美恵子	渥美美恵子
渥美直紀	包 聯群	チャクル ムラット	曹 波	鄭 淳一
福田孝晴	藤田隆則	福田浩二	福島和彦	船本洋治
高 偉俊	グリブ ディーナ	橋本留理子	平野 聡	ジッリオ、エマヌエーレ ダヴィデ
星埜弘明	細田衛士	堀田健介	井手園子	今西淳子
石田弘幸	岩崎統子	金 政武	鹿島順介	金子 宏
金子成彦	狩野正利	片岡達治	鹿取克章	河村一雄
金ボラム	金キョンテ	岸本啓子	小泉博義	越島啓介
幸田初枝	久保哲也	工藤 捷	功刀欣弥	郭 在祐
李 恩民	李 鋼哲	李 趙雪	林 少陽	劉 傑
前川麻里	前川 昭一	皆川倫子	三澤正勝	宮崎裕子
森本洋史	村 和明	村田雄二郎	永山 治	中上英俊
中村順次	中曾根弘文	中谷 俊信	並木寿光(隆史)	ニューベリーベイトン ローレンス
野村維男	沼田正博	尾島俊雄	岡 昌男	岡本 章
奥村裕一	大塚 寿	大内聖子	大脇正志	彭 浩
斎藤信男	佐野みどり	佐藤道信	佐藤直子	佐藤雄基
瀬谷啓二	施 建明	嶋津忠廣	白石勝己	ヤロスラフ シュラトフ
宋 志勇	末永 航	孫 繼強	鈴木由美子	高橋信之
竹田 優	田代民治	戸河里 敏	東城清秀	遠山友寛
辻 悦子	高橋 司	谷原 正	内田 顕	上野 宏
上保紀夫	ヴォー チー コン	呉 弘敏	武 玉萍	山田俊作
米田 稔	由田哲也	吉留可織	于 曉飛	張 佳

(敬称略)

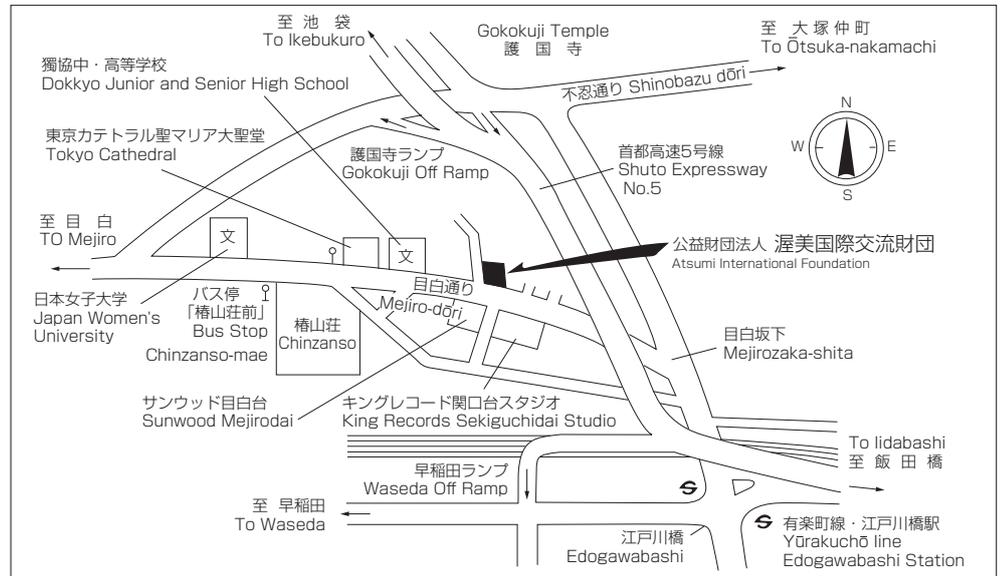
公益財団法人 渥美国際交流財団
ATSUMI INTERNATIONAL FOUNDATION

〒 112-0014 東京都文京区関口3丁目5番8号
3-5-8 Sekiguchi Bunkyo-ku Tokyo 112-0014 Japan

PHONE: 03-3943-7612 FAX: 03-3943-1512

E-MAIL: atsumifoundation@aisf.or.jp

<http://www.aisf.or.jp>



- JR山の手線目白駅より、都バス61番 新宿駅西口行、「椿山荘前」下車・徒歩3分
Take the 61 bus from Mejiro Station (JR Yamanote line) and get off at the “Chinzansomae” stop. 3 min. walk.
- 東京メトロ有楽町線「江戸川橋」(出口A1)
下車・徒歩10分
Get off at Edogawabashi station from the Yurakucho subway line. (A1 exit 10 min. walk)

発行者：公益財団法人渥美国際交流財団

発行日：2022年6月1日

発行責任者：渥美直紀

印刷：株式会社藤印刷



ATSUMI INTERNATIONAL FOUNDATION ANNUAL REPORT 2021

2021 年度 公益財団法人 渥美國際交流財団 年報